

# 東北地区 大学図書館協議會誌

第 60 号  
記念特集号  
平成 21 年 4 月



いわき明星大学図書館

加盟館一覧	表紙裏面
図書館の企画運営による「大学生のための情報検索術」実施報告 東北大学附属図書館総務課情報企画係	1
第 63 回東北地区大学図書館協議会総会	6
日 程	6
総会資料	7
総会議事要録	19
出席者名簿	28
図書館統計年報	31
協議会総会会場一覧	34
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	35
東北地区大学図書館協議会会則等	36
東北地区大学図書館協議会防災連絡網設置要項（国立部会、公立部会）	42
加盟館職員名簿	44
-----	
協議會誌第 60 号特集	
東北地区大学図書館協議会総会協議題一覧（第 54 回総会から第 63 回総会）	53
東北地区大学図書館協議会略年譜（平成 11 年 4 月から平成 20 年 9 月）	54
東北地区大学図書館協議会誌総目次（第 51 号から第 59 号）	56
加盟館紹介	58

## 東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町 1	(0172)39 - 3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田 3 - 18 - 8	(019)621 - 6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内 27 - 1	(022)795 - 5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町 1 - 1	(022)717 - 7973
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 3	(022)795 - 6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 6 - 03	(022)795 - 5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町 1 - 1	(022)717 - 8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉 149	(022)214 - 3348
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町 1 - 1	(018)889 - 2273
同 医 学 部 分 館	010-8543	秋田市本道 1 - 1 - 1	(018)884 - 6052
山形大学附属図書館	990-8560	山形市小白川町 1 - 4 - 12	(023)628 - 4016
同 医 学 部 分 館	990-9585	山形市飯田西 2 - 2 - 2	(023)628 - 5054
同 工 学 部 分 館	992-2235	米沢市城南 4 - 3 - 16	(0238)26 - 3019
同 農 学 部 分 館	997-8555	鶴岡市若葉町 1 - 23	(0235)28 - 2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川 1	(024)548 - 8083
(公 立 12 館)			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市大字合子沢字山崎 153 - 4	(017)764 - 1551
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬 58 - 1	(017)765 - 2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152 - 52	(019)694 - 2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑 1	(022)377 - 8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西 241 - 438	(018)872 - 1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町 12 - 3	(018)888 - 8106
国際教養大学図書館	010-1292	秋田市雄和椿川字奥椿台	(018)886 - 5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳 260	(023)686 - 6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町 6 - 15 - 1	(0238)22 - 7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90	(0242)37 - 2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田 1 - 1	(0242)37 - 2458
福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘 1	(024)547 - 1111
(私 立 34 館)			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畑 2 - 3 - 1	(017)738 - 2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字豊原 1 - 2 - 1	(0172)33 - 2289
八戸大学・八戸短期大学図書館	031-8588	八戸市大字美保野 13 - 98	(0178)30 - 1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開 88 - 1	(0178)25 - 8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町 13 - 1	(0172)34 - 5211
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸 19 - 1	(019)651 - 5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子 450 - 3	(0198)22 - 4986
盛岡大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込 808	(019)688 - 5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市萩荘字竹際 49 - 1	(0191)24 - 2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大釜字千が窪 14 - 1	(019)687 - 3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南 2 - 2 - 18	(0224)55 - 1399
仙台白百合女子大学図書館	981-3115	仙台市泉区本田町 6 - 1	(022)374 - 5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸 1	(0225)22 - 7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋 1 - 3 - 1	(022)264 - 6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央 1 - 13 - 1	(022)368 - 1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢 2 - 1 - 1	(022)375 - 1174
東北工業大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町 35 - 1	(022)305 - 3178
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見 1 - 8 - 1	(022)717 - 3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見 6 - 45 - 1	(022)233 - 3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島 4 - 4 - 1	(022)727 - 0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜が丘 9 - 1 - 1	(022)279 - 5658
尚綱学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘 4 - 10 - 1	(022)381 - 3439
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山 5 - 5 - 2	(022)376 - 8257
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢 46 - 1	(018)836 - 2406
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市大字上桜田 3 - 4 - 5	(023)627 - 2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池 1559	(023)655 - 2385
山形短期大学附属図書館	990-2316	山形市片谷地 515	(023)688 - 7544
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野 5 - 5 - 1	(0246)29 - 7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町字三角堂 31 - 1	(024)932 - 8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成 3 - 25 - 2	(024)932 - 4848
東日本国際大学学術情報センター	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢 37	(0246)35 - 0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原 1	(024)956 - 8639
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町 3 - 6	(024)534 - 7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池 1 - 1	(024)553 - 2087

第63回東北地区大学図書館協議会



いわき明星大学 高重 学長



いわき明星大学 清水 館長



東北大学 野家 館長



議長団



第63回総会風景



国立部会風景



公立部会風景



私立部会風景

# 図書館の企画運営による 「大学生のための情報検索術」実施報告

東北大学附属図書館総務課情報企画係

## はじめに

東北大学附属図書館では、教員の協力のもとに、全学教育科目「大学生のための情報検索術」を企画し運営している。図書館がこの授業を企画した平成16年度から今年（平成20年度）で5年が経過した。この5年間に、受講アンケートに記載された学生の意見や、学生が提出する最終レポートの結果などに基づいて、授業の構成や内容は少しずつ改善してきた。

東北大学附属図書館の情報リテラシーサービスは、さまざまなデータベースや図書館利用の講習会をはじめ、情報探索マニュアル『東北大学生のための情報探索の基礎知識』シリーズを刊行するなど、図書館の中核的なサービスの1つとして教育支援を位置づけ、積極的に取り組んできた。なかでも「大学生のための情報検索術」では、教員と協力することによって、情報検索の基礎から実際のレポート執筆までを、一貫した文脈のもとでプログラムを提供することが可能となっている。

本稿は、平成20年度における「大学生のための情報検索術」の実施内容について報告し、この5年間の取り組みについて概括する。そして、今後の本授業が目指すべき目標や、解決すべき課題などを明らかにしたい。

## 1. 授業の目的と内容

### (1) 授業の編成意図

全学教育科目「大学生のための情報検索術」は、はじめてレポートに取り組む学生を主な対象とし、開講以来一貫して、学生が「各種データベース等を利用した学術情報探索方法と、収集した資料や情報の活用方法を体系的に理解する（『平成20年度全学教育科目履修の手引（シラバス）』）」ことを目的に掲げてきた。

本授業が「学術情報探索方法」および「資料や情報の活用方法」の両輪から編成される背景については、すでに米澤が『レポート作成を起点とした情報リテラシー教育の試み（参考資料7）』で、「学生が目標とする到達点（よいレポート）を先に示し、次にその目標の実現方法として、適切な情報評価と適切な情報探索を教授すること」によってはじめて、「情報リテラシー教育は、学習というコンテキストの中」に正当に位置付けられる、と説明している。

言い換えれば、情報リテラシー教育では「到達点（よいレポート）」とその「実現方法」の両輪を合わせて提示することが学生に対してもっとも効果的であるといえる。

### (2) 授業の目的

上記の説明を、「大学生のための情報検索術」の授業を例として敷衍すれば次のようになるだろう。それは、学術的なレポートを書くためには先行研究の行き届いた調査が必要であり、そのためにはデータベースや各種参考資料を適切に利用して、資料や情報を探索することが重要となる。しかし、情報探索方法に習熟しても、学術的なレポートを執筆できるとは限らない。というのは、学術的なレポートを執筆するためには、収集した資料や情報を的確にまとめる方法やルールを理解することも必要となるからである。つまり、「学術情報の適切な探索方法」と「収集した資料や情報の的確な活用方法」は、学術的なレポートを執筆するためには不可分な両輪であり、「大学生のための情報検索術」の授業では、この2つの能力が効果的に身に付けられるよう改善を重ねている。

そして学生には、本授業で学んだ「学術情報探索方法」および「資料や情報の的確な活用方法」を実践するため、各自の関心や興味に基づき、独自に設定したテーマについてレポートを執筆する課題を与えている。テーマを独自に設定することは、明確な問題意識を持ち、レポートに主体的に取り組むことが要請されるため、特に初年次の学生にとっては負担の大きな課題といえる。一方では、この課題は授業の理解を実践的に試みることのできる適切な形式である。

## 2. 平成 20 年度 授業内容

平成 20 年度の授業概要を図 1 に、授業プログラムを表 1 に示す。

<p>■ 授業題目： 図書館及び学術情報データベース等を活用した情報探索・レポート作成術</p> <p>■ 授業の目的と概要： 将来「学術論文」を作成するために、大学におけるレポート作成を例にとり、各種データベース等を利用した学術情報探索方法と、収集した資料や情報の活用方法を体系的に理解する。データベースを使用した演習では、学内で利用されているデータベースのうち 10～13 種類を取り上げる</p> <p>■ 学習の到達目標： 講義で学習した情報探索方法とレポート作成方法を、各自設定した課題に関するレポート作成の過程を通じて、実践的に習得する</p> <p>■ 授業の内容・方法と進度予定： ・学術研究活動・学術情報流通における大学図書館の役割と課題 ・情報探索の基礎 ・オンライン目録の利用 ・レポート作成法 ・2次情報データベースの利用 ・電子ジャーナル ・各種参考資料の使い方 ・大学における研究活動の実際</p> <p>■ 教科書および参考書： 『東北大学生のための情報探索の基礎知識・基本編』東北大学附属図書館、2008年(教科書) 『これからレポート・卒論を書く若者のために』酒井聡樹、共立出版、2007年(参考書)</p> <p>■ その他： 開講期間は授業に関するブログを立ち上げ、授業内容の補足を行うとともに学生からの質問等を受け付ける。</p>
---

図 1 平成 20 年度「大学生のための情報探索術」授業概要

表 1 平成 20 年度「大学生のための情報探索術」授業プログラム

回	タイトル	担当	内容・目標	実習で使用する DB
1	■学術情報探索方法(1)■ ◇大学図書館の機能と役割について ー大学図書館では何ができるの？	泉山 図書館	◇講義 ・大学図書館の機能と役割、東北大学附属図書館の歴史と特色などについて理解する ・図書館職員から本授業の目的、スケジュール等について説明する	
2	■資料・情報の活用方法(1)■ ◇レポート作成法① ーレポート・論文の特徴を理解しよう	酒井	◇講義 ・レポート・論文の特徴について理解する ・レポート・論文のテーマの決め方、構想の練り方、タイトルの付け方などを知る	
3	■資料・情報の活用方法(2)■ ◇レポート作成法② ー考察・議論の展開の仕方を理解しよう	酒井	◇講義 ・レポート・論文における考察・議論の展開の仕方などについて理解する	
4	■資料・情報の活用方法(3)■ ◇レポート作成法③ ー文章技術を理解しよう	酒井	◇講義 ・レポート・論文を書くために必要な文章技術について理解する	
5	休講			
6	■学術情報探索方法(2)■ ◇百科事典とサーチエンジン ーその情報は大丈夫？	大町 図書館	◇講義 ・インターネット上の情報の特徴や、それらの情報を利用する上での注意点などについて理解する ◇実習 ・オンライン百科事典や主なサーチエンジンの使い方などについて知る	・Japan Knowledge ・サーチエンジン
7	■学術情報探索方法(3)■ ◇電子ジャーナル ーパソコンからでも論文を見られるの？	岩谷 図書館	◇講義 ・電子ジャーナルの概要と特徴、利用する上での注意点などを知る ◇実習 ・東北大学で利用できる電子ジャーナルの使い方について知る。また、論文などの入手先として発展しつつある機関リポジトリの概要について知る	・CiNii ・電子ジャーナル集 ・JuNii + ・東北大学機関リポジトリ TOUR
8	■学術情報探索方法(4)■ ◇図書の調べ方① ー東北大学の蔵書を調べよう	泉山 図書館	◇講義 ・図書および雑誌の特徴について理解する ・大学図書館にある資料の特徴について理解する ・文献情報の読み方や文献の整理の仕方などについて知る ・オンライン目録の基礎について理解する ◇実習 ・東北大学が所蔵する図書の調べ方を学ぶ	・蔵書検索

回	タイトル	担当	内容・目標	実習で使用するDB
9	■学術情報探索方法(5)■ ◇図書調べ方② ー東北大学にない本はどうやって調べるの？	泉山図書館	◇講義 ・著作権の概要について理解する ・オンライン目録の仕組みについてより発展的な事柄を理解する ◇実習 ・東北大学に所蔵がない場合の図書の調べ方を学ぶ	・蔵書検索 ・NDL-OPAC ・WEB-CAT-PLUS (一致検索)
10	■学術情報探索方法(6)■ ◇雑誌論文の探し方① ー雑誌から論文を入手しよう	泉山図書館	◇講義 ・雑誌の特徴について知り、雑誌論文の探し方・入手の仕方についての基礎を理解する ◇実習 ・日本語論文について、特に冊子体から入手する方法について知る	・蔵書検索 ・NDL-OPAC
11	■学術情報探索方法(7)■ ◇雑誌論文の探し方② ー日本語論文の探し方に習熟しよう	泉山図書館	◇講義 ・雑誌の特徴について知り、雑誌論文の探し方・入手の仕方について理解する ◇実習 ・日本語論文について、特にインターネット上から入手する方法について知る	・NDL-OPAC ・JDreamII ・医中誌 ・朝日新聞データベース ・聞蔵II ・KD(河北新報データベース)
12	■資料・情報の活用方法(4)■ ◇研究活動の実際と情報検索① ー自然科学分野	廣谷	◇講義 ・自然科学系の研究活動の実際と情報検索の事例について知り、将来的に必要となる技能について学ぶ	
13	■資料・情報の活用方法(5)■ ◇研究活動の実際と情報検索② ー人文社会科学分野	佐倉	◇講義 ・人文社会科学系の研究活動の実際と情報検索の事例について知り、将来的に必要となる技能について学ぶ	
14	休講			
15	■学術情報探索法(8)■ ◇まとめ ーこれから大学図書館をもっと活用するために	倉本図書館	◇講義 ・本授業全体のまとめ学術情報の最新動向について知り、さらに効果的に大学図書館を活用するための方法を学ぶ ◇実習 ・確認テスト ・授業アンケート	・レポート・論文を執筆する上で役立つWebサイトの紹介など

### (1) 授業の構成

授業初回は、教育情報学研究部・泉山靖人助教により、大学図書館の機能や本学図書館の概要等について講義を行い、授業第2回から第4回までは、生命科学研究所・酒井聡樹准教授による、「レポート作成法」の講義を行った。

授業の第6回から第11回は、90分の授業の前半を、工学研究科・大町真一郎准教授、電気通信研究所・岩谷幸雄准教授、および泉山靖人助教の各教員による、図書館学または情報科学に関連する講義を行い、授業の後半は教員による講義内容と関連するデータベースなどを取り上げた実習を行った。取り上げたデータベースは受講生の学年層を考慮し、日本語のデータベースを中心に実施した。

実習を通じて代表的なデータベースの使い方を実際に学んだ上で、授業の第12回および第13回では、自然科学分野の一例として薬学研究科・廣谷功准教授から、また人文社会科学分野の一例として文学研究科・佐倉由泰准教授から、それぞれ研究活動や論文を執筆する際におけるデータベースの活用方法等について具体的な研究事例の紹介を行った。

授業の最終回となる第15回では、附属図書館副館長の

理学研究科・倉本義夫教授により、本授業全体のまとめと、附属図書館をより一層活用するための方法などについて講義を行った。また合わせて授業の理解度を測る指標とするために、データベースの使用法やレポートの執筆法に関する基礎的な事項を問う簡単な確認テストを行った。

### (2) 提出課題

なお、平成20年度は提出課題として、従来の「参考文献リスト」の作成、「レポートのアウトライン」のまとめという課題に追加して、図書または論文を読み、その要約・感想・意見をまとめるという課題を加えた。これは、毎年度、関連文献を読まずにレポートを仕上げる学生が見受けられたためであった。これらの3つの課題の提出を通じ、学生は必ず1つの図書または論文を読み、参考文献リストを作成し、レポートの概略を考え、最終レポートを執筆するという手順を踏むことになった。

### 3. 受講生の推移とレポートのテーマについて

本授業は、全学部の学生が、学年に関わらず受講することができる。そのため、年度によって受講者数の違いはあるが、文系・理系を問わず幅広い分野の学生が授業に参加している。(図2参照)

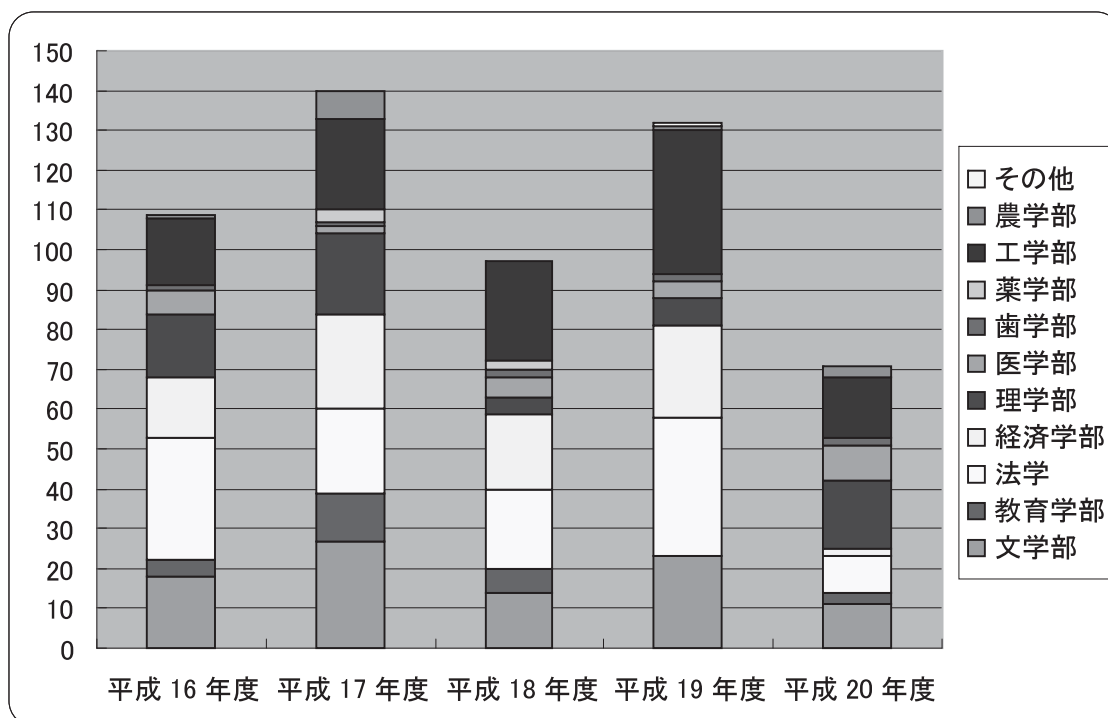


図2 受講生の推移（登録者数による）

また、レポートのテーマについて、学生は、学部や専攻を問わず、新聞やテレビなどで報道される社会問題や時事的な話題をテーマとして多く選択している。例えば、裁判員制度、終末医療や脳死問題などの生命倫理に関する問題、あるいはニートやフリーター、貧困や格差といった社会問題、不登校やいじめなどの教育問題、さらには食品の安全性に関わる問題や環境問題といったテーマが例年、多く論じられている。

## おわりに—今後の検討課題

### (1) レポートの形式

学生が提出する最終レポートには、文体がレポートとしてふさわしくないもの、章や節などの構成がないもの、注や引用の仕方が不適切なもの、参考文献リストがないものなど、レポートとしての形式が整っていない例が散見された。そのため、レポートの基本的な形式や書式を説明する時間を増やす必要があると思われる。

### (2) 授業評価の必要性

本授業で実施したアンケート調査では、学生の授業評価は概ね好評であると言って良い。ただし、この授業で学んだ成果が以後の学生の学習・研究活動にどのように具体的に役立っているのかは必ずしも明確ではなく、その影響の度合を調べることも容易ではない。しかし毎年のレベル向上に向けて、いわゆるPDCAサイクルに基づくマネジメントを、本授業に根付かせる必要があると思

われる。

### (3) 受講者数の拡大

本授業の受講者数は例年、100名前後で推移しているが、この人数は1学年全体の僅か数十分の一に過ぎない。「学術情報探索方法」および「資料や情報の活用方法」が、大学における学習・研究活動にとって必須の基礎的な能力であるとするれば、多くの学生に対してその習得の機会を提供することができるよう教員と協力して方途を探していくことが重要である。同時に、情報リテラシー教育を担当する図書館員を多く養成することも課題となる。

### (4) e-learnig システムの検討

本授業では、これまでもweb上で授業資料を配布するとともに、学生とのコミュニケーションを行うためのツールの1つとしてブログを積極的に活用してきた。これらの試みをさらに発展させ、学生がデータベースの使用方法などを自習形式で学べるオンラインチュートリアルを導入などが今後の検討課題である。

### (5) 新しい取り組みに向けて

近年はFD (Faculty Development : 教員の教育向上) やSD (Staff Development : 職員の資質向上) の推進に見られるように、大学教育を巡る環境も変動が大きい。については本授業も大学全体の視点から捉え直し、新たな方向性を探ることも怠りなくある必要がある。そのためには図書館が教育に関する広い視点を持ち、柔軟かつ臨機応変に対応できるよう、OD (Organizational



Development：組織開発）により図書館の活力を引き出すことも重要である。

#### 【参考資料】

##### ・関連サイト

- 1) 東北大学附属図書館. 大学生のための情報検索術 2008 年度.  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/zengaku2008/>)
- 2) 東北大学附属図書館. 大学生のための情報検索術 Blog.  
(<http://dbs.library.tohoku.ac.jp/cgi-bin/djk2008/diary.cgi>)
- 3) 東北大学附属図書館. 東北大学生のための情報探索の基礎知識シリーズ.  
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/2009/>)

##### ・発表論文・記事

- 4) 菅原透, 佐藤初美, 米澤誠. 情報探索マニュアル作成を軸とした情報リテラシー教育の展開とオープンソースの試み. 「医学図書館」. 52 (1), 25-30, 2005.
- 5) 永井伸. 全学教育科目「大学生のための情報検索術」にスタッフとして参加して. 「木這子」. 29 (4), 15, 2005.
- 6) 米澤誠. 検索エンジン主流時代だからこそ必要な図書館利用者教育. 「木這子」. 30 (4), 22-25, 2006.
- 7) 米澤誠. レポート作成を起点とした情報リテラシー教育の試み. 「医学図書館」. 54 (2), 160-165, 2007.
- 8) 佐藤初美. 大学生のための情報検索術 Blog. 「大学の図書館」. 26 (9), 148-152, 2007.
- 9) 平成 20 年度 全学教育科目授業「大学生のための情報検索術」実施報告－5 年目の評価とこれから. 「木這子」33 (4), 1-8, 2009.

# 第 63 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 20 年 9 月 18 日 (木)

会場 いわき明星大学 薬学棟 1 階 16-108 教室

福島県いわき市中央台飯野 5 - 5 - 1

TEL 0246 - 29 - 7121 (図書館) FAX 0246 - 29 - 5001 (図書館)

日 程

1. 受付 13:00 ~ 13:30

2. 開会式 13:30 ~ 13:50

薬学棟 1 階 16-108 教室

(1)開会の挨拶

当番館 いわき明星大学図書館

館長 清水 信行

(2)歓迎のこたば

当番大学 いわき明星大学

学長 高重 正明

(3)挨拶

常任幹事館 東北大学附属図書館

館長 野家 啓一

3. 議長団選出

4. 総会

(1) 報告事項 13:50 ~ 14:10

① 平成 19 年度会務報告について

② 平成 19 年度一般報告及び各部会報告について

③ ウェブサイト開設WGからの報告について

④ フレッシュパーソンセミナー開催の報告について

⑤ その他

(2) 協議事項 14:10 ~ 14:40

① 平成 19 年度決算報告 (案) について

② 平成 19 年度記念事業基金決算報告 (案) について

③ 平成 19 年度会計監査報告について

④ 東北地区大学図書館協議会の研修について

・研修部会の設置について

⑤ 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について

⑥ 東北地区大学図書館協議会誌第 60 号記念特集号について

⑦ 平成 20 年度合同研修会について

⑧ 平成 20 年度事業計画 (案) について

⑨ 平成 20 年度予算 (案) について

⑩ 平成 20 年度記念事業基金予算 (案) について

⑪ 第 64 回総会の当番地区 (館) について

⑫ その他

(3) その他

5. 部会 14:40 ~ 16:10

国立大学部会 薬学棟 2 階

16-211 プレゼンテーション室

公立大学部会 薬学棟 2 階 16-203 総合教育室

私立大学部会 薬学棟 1 階 16-103 会議室

< 休憩 10 分 >

6. 全体会議 16:20 ~ 17:20

薬学棟 1 階 16-108 教室

(1) 各部会からの報告及び質疑応答

7. 閉会式 17:20 ~ 17:30

(1) 次期当番館あいさつ

(2) 閉会のあいさつ

いわき明星大学図書館 館長 清水 信行

# 第 63 回総会資料

## 会 務 報 告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

昨年9月岩手県立大学を当番館として開催された第62回総会以降の会務については、次のとおりである。

### 1 平成19年度末加盟館数

本協議会の加盟館数は、第62回総会以降、加盟館数に変更はなく現在、国立15館、公立12館、私立34館、計61館となっています。

### 2 平成19年度 東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

期 日：平成20年7月18日（金）

13時00分～16時45分

会 場：東北大学附属図書館 2号館4階会議室

テ ー マ：大学図書館と利用者サービス(学習支援)

基調講演：「大学図書館と学習支援」

東北学院大学文学部教授

佐藤 義則 氏

事例発表：

①「東北大学附属図書館医学分館における利用者向け講習会」

東北大学附属図書館医学分館

永井 伸 氏

②「利用者を知る～教員ヒヤリングによる簡易なマーケティング～」

東北大学附属図書館工学分館

吉植 庄栄 氏

③「図書館資料の展示企画の事例～教科書資料～」

宮城教育大学附属図書館

菅原 淑子 氏

参 加 者：国・公・私立各加盟の38館から83名

### 3 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第59号は、平成20年6月に450部発行し、加盟61館及び関係機関等へ発送した。

### 4 幹事会について

(1) 平成20年7月24日（木）

(於：東北大学附属図書館)

① 第63回総会及び部会の議題等について

② その他

(2) 平成20年9月18日（木）開催

(於：いわき明星大学)

① 第63回総会及び部会の運営について

② その他

### 5 記念事業基金の造成について

平成19年度通常会計から記念事業基金として、91,500円を繰り入れた。

### 6 平成19年度会計監査について

9月9日、東北大学附属図書館において、会計監査館青森県立保健大学及び東北学院大学中央図書館による会計監査を受けた。

## 一 般 報 告

—— 国・公・私立大学図書館の動き ——

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

### ○会議等関係

1. 外国雑誌センター館会議について

2. 日本医学図書館協会総会について

3. その他

### ○研修・講習会等関係

1. 目録システム講習会

[図書コース]

期 間：第1回 平成20年5月21日（水）  
～5月23日（金）

第2回 平成20年5月28日（水）  
～5月30日（金）

第3回 平成20年6月25日（水）  
～6月27日（金）

第4回 平成20年7月9日（水）  
～7月11日（金）

第5回 平成20年10月15日（水）  
～10月17日（金）

第6回 平成20年12月10日（水）  
～12月12日（金）

[雑誌コース]

期 間：第1回 平成20年6月18日（水）  
～6月20日（金）

第2回 平成20年7月2日（水）  
～7月4日（金）

第3回 平成20年11月5日（水）  
～11月7日（金）

場 所：国立情報学研究所

2. 目録システム地域講習会

[図書コース]

期 間：平成20年5月28日（水）～5月30日（金）

場 所：東北大学附属図書館

3. ILLシステム講習会  
 期 間：第1回 平成20年5月26日(月)  
 第2回 平成20年6月4日(水)  
 第3回 平成20年6月11日(水)  
 第4回 平成20年10月30日(木)  
 第5回 平成20年12月9日(火)  
 場 所：国立情報学研究所
4. 情報セキュリティ基礎研修  
 期 間：平成20年7月16日(水)～7月18日(金)  
 場 所：国立情報学研究所
5. 学術ポータル担当者研修  
 期 間：平成20年8月27日(水)～8月29日(金)  
 場 所：国立情報学研究所
6. ネットワーク管理基礎研修  
 期 間：第1回 平成20年8月6日(水)  
 ～8月8日(金)  
 第2回 平成20年12月17日(水)  
 ～12月19日(金)  
 場 所：国立情報学研究所
7. 大学図書館職員短期研修  
 期 間：平成20年11月10日(月)～11月13日(木)  
 場 所：東京大学
8. 学術情報リテラシー教育担当者研修  
 期 間：平成20年11月19日(水)～11月21日(金)  
 場 所：国立情報学研究所
9. N A C I C - C A T / I L L ワークショップ  
 期 間：平成20年12月3日(水)～12月5日(金)  
 場 所：国立情報学研究所
10. 平成20年度大学図書館職員長期研修  
 期 間：平成20年7月7日(月)～7月18日(金)  
 場 所：筑波大学
11. 平成20年度漢籍担当職員講習会(初級・中級)  
 期 間：初 級 平成20年10月6日(月)  
 ～10月10日(金)  
 中 級 平成20年11月10日(月)  
 ～11月14日(金)  
 場 所：京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター
12. 第28回西洋社会科学古典資料講習会  
 期 間：平成20年11月11日(火)～11月14日(金)  
 場 所：一橋大学佐野書院
13. 第9回「西洋古典資料保存講習会」  
 期 間：平成20年7月14日(月)～7月16日(水)  
 場 所：一橋大学社会科学古典資料センター
14. 平成20年度図書館等職員著作権実務講習会

期 間：平成20年9月10日(水)～9月12日(金)  
 場 所：主会場 九州大学附属図書館視聴覚ホール  
 副会場 東京大学教養学部13号館  
 (駒場キャンパス)

## 国立部会関係

(幹事館：東北大学)

○第6回国立七大学附属図書館長会議  
 (平成19年9月11日 九州大学)

### 協議事項

1. 今後の図書館経営の諸問題について

○第40回国立七大学附属図書館事務部課長会議  
 (平成19年9月11日 九州大学)

### 協議事項

1. 図書系職員の確保・育成・評価について
2. デジタル情報環境下における図書館事務組織について
3. 図書館資料の保存について
4. 文献複写について
5. 学習支援機能の充実と評価

○第81次国立七大学附属図書館協議会  
 (平成19年9月11日 九州大学)

### 協議事項

1. 電子ジャーナル等の整備と今後の在り方について
2. 教育・研究基盤資料(基本図書)の整備について
3. 資料分担保存とデリバリーについて
4. 機関リポジトリと著作権処理について
5. 図書館システムについて

○平成19年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議  
 (平成19年11月29日 福島大学)

### 協議事項

1. 第55回国立大学図書館協会総会について
2. 国立大学図書館協会総会、理事会等の見直しについて
3. 第55回国立大学図書館協会総会等における報告及び協議事項について
4. 平成20年度国立大学図書館協会マネジメント・セミナーについて
5. 平成20年度国立大学図書館協会総会シンポジウムについて
6. 平成20年度目録システム地域講習会の開催について

7. 電子ジャーナルを中心とした外国雑誌の整備方針・経費措置について
8. 機関リポジトリの取組みについて

○第39回国立大学図書館協会東北地区協会総会

(平成20年4月24日 岩手大学)

協議事項

1. 学生用図書経費の確保と選書方法について
2. 学生にとって魅力のある場としての施設・設備の充実について
3. 電子ジャーナルの整備状況について
4. 機関リポジトリへの論文登録の促進について
5. 第55回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
6. 第55回国立大学図書館協会総会運営への協力要請について
7. 国立大学図書館協会東北地区協会理事・当番館の確認について

○第55回国立大学図書館協会総会

期 日 平成20年6月26日

会 場 仙台国際センター

当番地区 東北地区協会

当 番 館 東北大学附属図書館

協議事項

1. 理事選出について
2. 平成19年度決算報告・同監査報告について
3. 平成19年度記念基金収支決算報告・同監査報告について
4. 平成20年度事業計画(案)について
5. 理事の選出方法及び任期の変更について
6. 北信越地区割の変更について
7. 平成20年予算(案)について

特別報告

1. シンポジウム「5月1日 新たな学術情報流通改革に向けて」の報告と今後の進め方について
2. 新たな図書館システムについての国立情報学研究所への要望と回答及び今後の進め方について

ワークショップ

- A 学習・教育支援を強化するために大学図書館は何をすべきか
- B 電子ジャーナルの持続的利用を目指した学術情報流通改革について

平成20年度事業計画(案)

- (1) 総務委員会、国際学術コミュニケーション委

員会、人材委員会及び学術情報委員会の活動方針を確認

- (2) マネジメント・セミナーの開催について

期 日 6月25日(水)

会 場 仙台国際センター

テーマ 「学術情報基盤としての大学図書館—次期中期目標・中期計画に向けて—」

- (3) 国立大学図書館協会シンポジウムの開催について

西日本会場：京都大学附属図書館

平成20年9月～10月

東日本会場：東京大学附属図書館 //

テーマ：「図書館職員としてのキャリア形成を求めるあなたに—望まれるキャリアパス制度をめざして—」

- (4) 学術情報流通改革ワークショップの開催について

○平成20年度外国雑誌センター館会議

(平成20年5月15日 一橋大学)

協議事項

1. 外国雑誌センター館活動評価について
2. その他

○第79回日本医学図書館協会総会

期 日：5月30日(金)

会 場：京王プラザホテル札幌

当番館：北海道医療大学

総 会

- (1) 平成19年度事業報告
- (2) 平成19年度決算報告
- (3) 平成20年度事業計画(案)
- (4) 平成20年度予算(案)
- (5) 会長・理事・監事選挙結果報告及び承認
- (6) その他

分科会

1. 人材育成
2. コストセンターからプロフィットセンターへ
3. 電子ジャーナルのゆくえ
4. 地域における知の拠点としての図書館の役割

## 公立部会関係

宮城県図書館長 伊達 宗弘 氏

### (幹事館 岩手県立大学)

#### ○平成20年度公立大学協会図書館協議会事務長会・総会

期 日：平成20年6月5日(木)～6日(金)

会 場：宮城県仙台市 仙台ガーデンパレス

開催館：宮城大学総合情報センター

#### <事務長会>

##### 協議事項

- ・協議会の今後のあり方について

##### 承合事項

1. 名簿類の取り扱いについて
2. オンラインデータベースの充実について
3. 公立大学法人化の現況と課題
4. 外国語の有料電子ジャーナルの利用状況と課題

#### <拡大役員会>

##### 報告事項

1. 平成19年度事業報告
2. 平成19年度決算報告及び監査報告
3. 相互協力委員会報告
4. HP委員会報告
5. 事務長会報告
6. その他

##### 協議事項

1. 業務見直し(案)について
2. 平成20年度事業計画(案)について
3. 平成20年度予算(案)について
4. 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
5. 公立大学協会図書館協議会研修会について
6. 筑波大学主催大学図書館職員長期研修参加者の推薦について
7. 平成20年度相互協力委員会について
8. 平成20年度HP委員会について
9. 役員を選出について
10. 関係委員会委員等の推薦について
11. 「内規申合せ事項」の改正について
12. 一人複数大学の会費の取り扱いについて
13. その他

#### <総 会>

文部科学省行政説明

研究振興局情報課学術基盤整備室大学図書館係長

大塚 克威 氏

##### 基調講演

「みちのく宮城に遊ぶ ―東北の文化と歴史の源流を訪ねて―」

#### ○平成20年度公立短期大学図書館協議会総会

期 日：平成20年8月21日(木)

会 場：岡山県新見市 新見公立短期大学

開催館：新見公立短期大学附属図書館

#### 議 題

##### 1. 報告事項

ア 役員紹介

イ 平成19年度事業報告及び決算報告

ウ 平成19年度地区協議会活動報告

##### 2. 審議事項

ア 平成20年度事業計画及び予算(案)

イ 提案議題

##### 3. その他

#### ○平成20年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期 日：平成20年8月22日(金)

会 場：岡山県新見市 新見公立短期大学

開催館：新見公立短期大学附属図書館

#### 講 演

「オープンソースとしての図書館システム」

東京工科大学図書館 田辺 浩介 氏

#### ○平成20年度公立大学協会図書館協議会東部地区館会議

期 日：平成20年8月22日(金)

会 場：青森県青森市 青森県立保健大学

開催館：青森県立保健大学附属図書館

#### 協議(確認)事項

「東部地区における役員ローテーションについて」

#### 承合事項

1. 「法人化後の『図書』の管理(定義)について」

(提案館：宮城大学総合情報センター)

2. 「学習の場としての図書館の設備・サービスの整備について」

(提案館：青森県立保健大学附属図書館)

3. 「パスファインダーについて」

(提案館：青森県立保健大学附属図書館)

#### ○平成20年度公立大学協会図書館協議会研修会

期 日：平成20年9月4日(木)～5日(金)

会 場：広島県広島市 広島市立大学

開催館：広島市立大学附属図書館

テーマ：大学図書館の魅力アップ術 ―学生の利用率

向上を目指して―

## 基調講演

「今大学図書館に求められているもの」  
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授  
逸村 裕氏

## 事例報告1

「学生利用をのばす図書館の試み」  
国際基督教大学図書館長代行 畠山 珠美氏

## 事例報告2

「学生の社会的成長を支援する滞在型図書館を目指して  
—マイライフ・マイライブラリー—」  
東京女子大学教育研究支援部図書館課長  
橋本 春美氏

## 事例報告3

「効果的な広報活動の試み —広報ツールの改善を通して—」  
三重大学附属図書館情報リテラシー担当  
柴田 佳寿江氏

## 私立部会関係

(幹事館：東北福祉大学・郡山女子大学)

○私立大学図書館協会・東地区部会を中心に

I. 加盟校506校(2008年4月1日現在) 東地区252校・西地区252校

\*東北地区加盟館 22館(50音順)

秋田看護福祉大学附属図書館, 石巻専修大学図書館,  
いわき明星大学図書館, 奥羽大学図書館, 郡山女子大学図書館,  
尚絅学院大学図書館, 仙台白百合女子大学図書館,  
東北学院大学中央図書館, 東北芸術工科大学図書館,  
東北工業大学附属図書館, 東北女子大学附属図書館,  
東北福祉大学図書館, 東北文化学園大学総合情報センター図書館,  
東北薬科大学附属図書館, 日本大学工学部図書館,  
ノースアジア大学附属図書館, 八戸工業大学図書館,  
八戸大学・八戸短期大学図書館,  
東日本国際大学昌平図書館, 富士大学図書館, 宮城学院女子大学図書館,  
盛岡大学図書館,

○第68回総会・研究大会

日時：2007年9月6日(木)～7日(金)  
会場：立教大学  
メインテーマ：「大学図書館連携の新たな展開」  
総会  
協会賞(2006年度審査決定・2007年度表彰)  
研究助成(2006年度決定)  
会務報告(2006年度)  
委員会報告

## 協会関連事項報告

2007年度私立大学図書館協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

## 総会議案

- 1) 2006年度一般会計・特別会計決算報告(案)について
- 2) 2007年度事業計画(案)について
- 3) 2007年度一般会計・特別会計予算(案)について
- 4) 新規加盟校について

## 記念講演

演題 「富士山のイメージ 物語と絵から」  
講演者 小嶋 菜温子氏(立教大学文学部教授)

## 研究大会

報告(1) 2006年度 海外集合研修報告  
報告者 石川 敬史氏(工学院大学図書館)  
報告者 清水 道太氏(国際基督教大学図書館)  
報告者 二塚 恵里氏(国立音楽大学附属図書館)  
報告者 森戸 智枝氏(広島修道大学図書館)

報告(2) 2006年度 海外派遣研修報告  
報告者 高井 響氏(立命館大学図書館)

## 研究助成発表

表題 「大学間の図書館システムの統合—システムモデルと実装—」  
発表者 中林 雅士氏(明治大学図書館)

## 講演(1)

演題 「山手線沿線私立大学図書館コンソーシアムに見る図書館連携」

講演者 牛崎 進氏(立教大学図書館事務部長)

## 講演(2)

演題 「OCLCと地区サービス・プロバイダ(RSP)の連携から見えてくるもの」

講演者 片山 俊治氏(大阪大学附属図書館利用支援課長)

## パネルディスカッション

テーマ 「大学図書館連携の新たな展開」  
コーディネーター 青木 康氏(立教大学図書館長)

○第2回研修会

日時：2007年11月29日(木)・11月30日(金)  
場所：東京理科大学

テーマ：電子資料を考えるー学術情報流通の現状ー

基調講演：

「学術情報流通の動向ーオープンアクセス、電子図書、データベースー」

愛知大学文学部 教授 時実 象一 氏

講演：

「学術情報流通の「これまで」と「これから」  
ー大学図書館に「みえるもの」と「みえないもの」ー」  
『Academic Resource Guide』編集長 岡本 真 氏

講演：

「電子情報流通における図書館と出版社の連携  
エルゼビア・ジャパン株式会社

マーケティングマネージャー 高橋 昭治 氏

講演：

「医学図書館における電子資料の提供」  
東京慈恵会医科大学 学術情報センター係長

北川 正路 氏

事例報告：

「電子ジャーナルを活用するために  
ー慶應義塾大学の場合ー」

慶應義塾大学メディアセンター本部課長

佐藤 康之 氏

事例報告：

「同志社大学学術リポジトリの運用と今後の課題」  
同志社大学総合情報センター 情報サービス課

情報サービス係長 原 健治 氏

講演：

「電子ジャーナルの利用と促進」

東北大学附属図書館総務課長 加藤 信哉 氏

#### ○2007年度研究分科会報告大会

日時：2007年12月13日（木）・14日（金）

場所：帝京大学

##### 【西洋古版本研究分科会】

西洋古版本の構造とその書誌作成

##### 【和漢古典籍研究分科会】

和漢古書の情報を読むー複雑さと個性の世界ー

##### 【L-ラーニング学習支援システム研究分科会】

大学図書館員のためのブレンディッド・ラーニング  
ーMoodleを使ったエルラー的システムの構築ー

##### 【レファレンス研究分科会】

レファレンスサービスと情報リテラシー教育  
ー国公立大学図書館の取り組み事例ー

##### 【情報リテラシー教育研究分科会】

情報リテラシー教育 業務マニュアル骨子の整備化

ー図書館員が主体となって企画・運営する情報検索  
ガイダンスー

##### 【パブリック・サービス研究分科会】

2006-2007年度 パブリック・サービス研究分科会活  
動報告ーElegantなLibrarianをめざしてー

##### 【逐次刊行物研究分科会】

学術情報の周縁ー電子ジャーナル契約の今後とオー  
プンアクセスについてー

##### 【分類研究分科会】

NDC発展の可能性を探るー教育分野の検討からー

##### 【企画広報研究分科会】

図書館広報活動の共有化と相互支援

##### 【メタデータ研究分科会】

メタデータ研究分科会活動報告

##### 【図書館運営戦略研究分科会】

図書館業務における外部委託の現状について

##### 【相互協力研究分科会】

「相互貸借、特に利用者からのオンライン申込に関  
するアンケート」集計報告

#### ○東地区部会総会

日時：2008年6月13日（金）

場所：玉川大学

##### I 報告事項

###### 1. 2007年度東地区部会報告

1-1 部会（2008年度次期役員校選考委員会報  
告含む）

1-2 研究部

###### 2. 2007年度協会関係会務報告

3. 2008年度私立大学図書館協会委員会および協会  
関連団体等委員

###### 4. 私立大学図書館協会組織図

##### II 協議事項

1. 2007年度東地区部会決算報告及び監査結果

2. 2007年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果

3. 2008年度東地区部会事業計画（案）

4. 2008年度東地区部会予算（案）

5. 2008年度東地区部会研究部活動計画（案）

6. 2008年度東地区部会研究部予算（案）

#### ○東地区部会館長会

日時：2008年6月13日（金）

場所：玉川大学



○東地区部会研究講演会

日 時：2008年6月13日（金）

場 所：玉川大学

講 演：「平成19年度特色GP『教育の場』としての図書館の積極的活用」について

明治大学図書館 副館長 広沢 絵里子 氏

講 演：「学生支援GPマイライフ・マイライブラリープロジェクトについて」

東京女子大学図書館 館長 小林 一章 氏

**東北地区大学図書館協議会  
ウェブサイト開設WGについて**

{WG委員 20年9月18日現在} \*印はウェブ管理者

佐藤 亜紀（山形大学）

尾田陽子，菅原透，永井伸\*（東北大学）

西戸雅博（福島県立医科大学）

須田充彦（東北学院大学）

稲妻晶子（東北福祉大学）

参考…米澤誠（山形大学）

月 日	摘 要
平成20年 3月4日 (メール会議)	第4回WG会議 議 題 1. 加盟館HP更新情報、図書館界ニュースについて 2. 職員研修予定について 3. 加盟館職員の記事情報 4. 加盟館の催事情報 5. その他 ① ホームページへのアクセス件数について

**平成19年度東北地区大学図書館協議会  
フレッシュ・パーソンセミナー開催要項**

1. 趣旨

東北地区の大学等の図書館職員として採用された職員が、最初に受ける地区全体の研修として位置づける。所属機関を問わず必要とされる図書館職員としての基本的な知識を身につけると同時に、地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促すことを目的とする。平成17年度に1回目のセミナーを開催しており、今回が2回目の開催となる。

2. 対象者

東北地区大学図書館協議会に加盟している大学等の図書館に採用及び配属等されて概ね2年未満の職員(非常勤職員を含む。)

3. 開催時期

12月5日（水）

4. 主催

東北地区大学図書館協議会

5. 事務局

東北大学附属図書館

6. 実施経費

参加者の旅費等は、各大学法人等の負担とする

7. セミナー内容

図書館職員としての基礎知識及びカレントトピックス

8. その他

「国立大学図書館協会フレッシュ・パーソン・セミナー開催計画（企画案）」に基づき、東北地区に限定して実施するものである。

(別紙)

平成19年度東北地区大学図書館協議会フレッシュ・パーソン・セミナーカリキュラム

12月5日（水）

時 間	内 容 等	備 考
9:30 ～9:55	受付（名札、資料等配付）	東北大学附属図書館 2号館4階会議室前
10:00～ 10:15	開講式・事務連絡	高橋補佐
10:15～ 11:00	① 大学図書館の役割	東北大学附属図書館 総務課長 加藤 信哉
11:00～ 11:45	② 図書館カウンターでの接遇： 利用者対応の実例を中心に	東北福祉大学図書館 平野 実
11:45～ 13:00	昼休み	
13:00～ 13:45	③ 目録データの作成と提供： NACSIS-CATを中心に	東北大学金属材料研 究所図書館係長 真籠 元子
13:45～ 14:45	④ 資料の活用：NACSIS-ILLを中心に	宮城教育大学情報 サービス専門職 沼田 幸子
14:45～ 15:00	休憩	
15:00～ 15:45	⑤ カレントトピックス： 「情報リテラシー教育支援」	東北大学附属図書館 情報サービス課参考 調査係長 對馬庸二
15:45～ 16:45	⑥ 班別討議 カレントトピックス： 「情報リテラシー教育支援」につ いて	司会 東北大学附属 図書館サービス課長 横山 敏秋
16:45～ 16:50	閉講式	
16:50～ 17:20	館内見学	希望者
17:20～ 18:20	懇親会	希望者

## 協 議 題 ( 総 会 )

(平成12年9月20日承認)

### 4. 東北地区大学図書館協議会の研修について

- ・研修部会の設置について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

第62回総会において、研修検討WGを設置し、東北地区大学図書館協議会における研修の充実に向けて、検討を重ねた結果、研修運営の持ち回り体制は維持しつつ、研修に関する要望把握、成果公開等の作業を継続的に実行できる体制を整えるために、協議会に研修部会の設置を常置するという答申が提出された。

この答申に基づき、協議会に研修部会を設置することを提案するものである。

なお、研修部会設置要項(案)は、別添協議事項資料集参照。

### 5. 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

第60回総会において、ウェブサイト開設WGの設置が認められ、その設置目的に沿って種々活動を行ってきたが、当初の目的は達成されたので、更に充実を図るためウェブサイト運用部会を設置し、加盟館職員及び他の図書館関連機関に本協議会の活動状況を提供し、利用に供したい。

### 6. 東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

協議会誌第50号を発行する際、記念特集号としてこれまでの本協議会の歩みを掲載しているのので、第60号(平成21年5月頃発行予定)も同様に特集号として発行することを提案したい。

なお、掲載するものは、第54回総会から第63回までの分としたい。

### 7. 平成20年度の合同研修会について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

青森地区が開催予定になっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区  
平成13年度以降の合同研修会当番予定地区

年度	当番地区	担 当 大 学	備 考
13	宮 城	東 北 大 学	
14	青 森	弘 前 大 学	
15	岩 手	岩 手 大 学	
16	秋 田	国 際 教 養 大 学	
17	山 形	東 北 芸 術 工 科 大 学	
18	福 島	会 津 大 学	
19	宮 城	宮 城 教 育 大 学	
20	青 森		
21	岩 手		

注：担当大学については、当該開催地区において協議するものとする。

### 8. 平成20年度事業計画 (案)

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

#### 1 第63回総会の開催

平成20年9月18日(木)いわき明星大学を当番館に実施

#### 2 記念特集号の刊行

東北地区大学図書館協議会誌 第60号 平成21年5月の予定

#### 3 職員の表彰

- ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
- ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

#### 4 研修会の開催(国・公・私立大学合同)

開催当番 青森地区の予定

#### 5 記念事業基金の造成

平成20年度通常会計から記念事業基金(91,500円)を繰り入れ予定

## 協 議 題 (総 会)

### 11. 第64回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

1) 宮城地区(仙台白百合女子大学)が当番となっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館) 予定

(平成15年9月16日承認)

回	年度	当番地区	会 場 大 学	備 考
58	15	宮 城	東 北 福 祉 大 学	
59	16	山 形	山 形 大 学	
60	17	青 森	青 森 大 学	
61	18	宮 城	宮 城 大 学	
62	19	岩 手	岩 手 県 立 大 学	
63	20	福 島	い わ き 明 星 大 学	
64	21	宮 城	仙 台 白 百 合 女 子 大 学	
65	22	秋 田		
66	23	山 形		
67	24	宮 城		

注：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

### 2) 開催地区のローテーションの確認について

① 宮城地区は、他地区より大学の数も多いので3年に1回割り振る。

② その他の地区は、次のローテーションによる。  
青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

## 協 議 題 (国 立 ・ 公 立 ・ 私 立 部 会)

### 4. 東北地区大学図書館協議会の研修について

・研修部会の設置について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

### 5. 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

### 6. 東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

## 私 立 部 会

承合事項(部会)【別添配付資料参照】

### 1. 大学紀要の学内規程について

(八戸工業大学図書館)

(提案理由)

各大学で制定している紀要について、今後本学の参考としたいので次の事項についてご教示願いたい。

① 大学に紀要に関する規程等について、公表可能であれば1部譲り受けたい。

② 学内に紀要に関する審査・査読機構の有無。

③ ②の場合、②の規程に関連して紀要への掲載を拒否したことがあるか。その場合問題となった内容あるいはキーワードは何であったのか。

承合事項(部会)

### 2. 寄贈図書の価格算定基準について

(東北薬科大学図書館)

(提案理由)

本館では、図書委員会で決定した内規により、寄贈図書の価格を算定し、図書として受入処理を行い図書台帳に記載していますが、現在その見直しを検討しているところです。

そこで、市場流通価格が不明な資料等について、他館ではどのように資産登録を行っているか、またその基準についてお伺いし、参考とさせていただきたい。

承合事項(部会)

### 3. 未返却図書の処理手続きについて

(宮城学院女子大学図書館)

(提案理由)

本学図書館では数年前より、未返却のまま卒業した者について、卒業後も督促を続けていますが、それにもかかわらず未返却となっている図書が出てきております。

現在、本学の「図書館管理規程」の「除籍・損耗」の条文には、回収不能となった図書については、規定されていないので、未返却図書について各館の実情を伺いたい。

承合事項(部会)

### 4. 外国雑誌の値上がりについて

(宮城学院女子大学図書館)

(提案理由)

本学図書館では、外国雑誌の値上がりに苦慮して

おり、すでに図書購入予算を圧迫するという事情も生じています。その対策として購入時期や購入雑誌の見直しなどしております。

外国雑誌の購入について、各館の事情およびお考えを伺いたい。

# 第 63 回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

## 開会のあいさつ

いわき明星大学図書館 館長 清水 信 行

開会のご挨拶を申し上げます。ただいまご紹介いただきました、私、今回の第63回東北地区大学図書館協議会の当番校を仰せつかっております、いわき明星大学図書館長の清水でございます。本日はご多忙のところ遠路遙々、福島県の最南端でありますいわきにお越しくださいませ、大変ありがとうございます。心より歓迎いたします。

さて、東北地区大学図書館協議会も第63回目を迎えたということでございます。大変歴史と伝統のある協議会であるものと思います。私たちの大学はまだ21年の歴史を刻んだに過ぎません。その設立もずっと前から、この会の営みが続いていることを知りまして、強く感じるがあります。そのような歴史のある協議会を私どもの大学に開催する機会を与えてくださりまして大変光栄に思うと同時に、有難うございます。

世の中の変動が目まぐるしく、先を読むことが中々難しくなっている現代におきまして、大学もそのうねりを避けることはできません。そして図書館もそのような流れの中で、厳しい対応が日々迫られておるといのが現実です。特に世界の危機、直接私どものところにやってくる、世界のグローバル化等ですね、それから日本における少子化、少子高齢化の問題、こういうものが挙げられると思うのですがこのような中で図書館の運営は、効率化、省力化それからサービスの向上という、ややもすると相反する二面を強く要求されるのが現状でございます。このような難点は各大学図書館さんの共通の課題としてこの会でもですね、知恵を絞って協議して解決していかねばならない問題の一つであろうと思っております。

さて、せっかくこのいわきにいらしていただいたので、いわき明星大学の図書館につきまして簡単にご紹介させていただきます。まず開学年度の1987年に蔵書数4万4千冊でスタートしました図書館も、2008年初めには蔵書数が23万冊を数えるようになりました。2006年には業務を一部委託が開始されました。2007年4月には薬学部が設置され、図書館の開館時間は朝の8時45分から夜の9時まで拡大されました。更に、図書館に連動する形で学習センターもオープンされました。これに伴い、誰でも入館を自由にいたしました。又、学習センターの一階にはカフェテリアをオープンいたしました。2007年5月には学内部署の混合化を図り、コンピューター関係の支援を目的とする、情報教育センターと図書館をまとめた、学術情

報支援室を発足させました。このような学生と教職員、地域の住民に開かれた図書館としてサービスの向上を図ったことによりまして、ここ数年利用者は格段と増加してまいりました。更に現在、高校生の利用サービスの向上に努めております。お時間がございましたら、会が終わりました時に、少し時間がございますので、私共の図書館をご見学いただければ幸いに存じます。

最後になりますけれども、本協議会の開催に当たりまして、ここにご参加くださいました皆様に感謝申し上げます。また、常任幹事館の東北大学附属図書館の野家館長はじめ関係の皆様方、それから国公私立大学の幹事館の皆様方にもご指導ご協力を頂きました。大変感謝しております。更に、総会地区、総会当番地区であります福島地区の大学の図書館の関係者の皆様にもご指導ご協力いただきました。感謝申し上げます。最後に、内事になりますが、開催担当といたしましていわき明星大学の図書館員はじめ、職員には開催準備で色々協力いただきました。ここにお礼申し上げたいと思います。

以上を持ちまして、私の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。(拍手)

## 歓迎のこたば

いわき明星大学 学長 高 重 正 明

皆様、いわき明星大学にお越しいただきまして本当にありがとうございます。ここは今、清水館長も申しましたように東北の最南端に位置しております。新幹線がありませんのでいらっしゃるのにずいぶん苦労されたのではないかと思います。初めて来られた方のなかには、こんなところにこんな大学があったのかというお思いの方もひょっとしたらいらっしゃるかもしれません。ここから更に南に下りますと、勿来というところがございます。勿来の関で知られる場所です。八幡太郎義家の碑が建っております。そこを境として丁度関東から見ますと東北の入り口にあるのがいわきでございます。いわきは“サンシャインいわき”と言われておりますように非常に晴れた日が多いわけですが、・・・今日は若干それらしくございませんけれども・・・、時間の許す限り、このいわき市の、先ほど申しました勿来の関や、美空ひばりの碑がある塩屋崎、映画フラガールの舞台になったハワイアンセンター（現スパリゾートハワイアンズ）など、折角の機会でございますので是非ご見聞いただければ、長くいわきに住んでおる者として非常に嬉しく思い

ます。

ところで、本学のもう少し全般的な紹介をしたいと存じます。本学は、東京の府中市に本部がございます学校法人明星学苑が、1987年にこの地に設立した総合大学です。当初は理工学部と人文学部の2学部でスタートしました。すでに1万人を超える卒業生がおり、それから大学院は理工学・人文学の各専攻が博士課程までございまして、こちらもすでかなりの数の修了者を出しております。10年というか、21世紀に入ってからは、これはもう今更申し上げるまでもなく、大学に勤めている方ならご存知のように、大学をめぐる状況あるいは地方の私立大学の状況というのは、学生募集等で非常に難しい状況がございます。先程、清水館長からも若干その辺の話がありましたけれども、本学も組織を随分と変えております。当初はクラシックな理工学部と人文学部からスタートいたしましたけれども、現在は、理工学部は科学技術学部と名前を変えまして、生命科学の方向に大きくシフトしています。更に昨年には薬学部という新しい学部を作りました。これらは現在のサイエンスの動向に沿った改組です。また人文学部では、福祉とか、心理学、臨床心理専攻大学院など出来るだけ現代社会のニーズを反映させた方向に組織を改組して、少子化時代に対応するための出来る限りの努力をしているということでございます。その中で、本学の図書館の役割も当初から随分と重要視してきておりますが、昨年の薬学部設立と同時に、特にハードウェアの面でも充実をさせました。図書館の床面積を増やし、学習センターを併設しました。いわゆる普通の図書館からアメニティー空間という方向に変更したということでございます。そのようなところは是非ご見学いただいてご意見をいただければと思っております。

どのような組織でも今日、最善のことは何かといわれても中々判断できず、難しい世の中でございます。これは何をやるにせよ非常に色々なことがリンクして、ほんの一瞬先のことしか予測できないという状況があるためではないでしょうか。そうであるならば、私達はそれぞれの立場で色々な接触する機会をつくり、その中で、よく言われるセレンディピティと申しますか、偶然の出会いが新たな価値を生み出すというような、実りあることが起これば非常に幸いではないかと思えます。こういう研究会あるいは集会があるということも、そのようなことを期待してのことと思えますので、是非この集まりが有意義なものになることを期待いたします。夕方には懇親会もあるということでございますが、私、所用でもうすぐ東京に行かなければなりません。是非そういうところで皆様とお話する機会を持ちたかったのでございます

が、失礼させていただきます。本日が有意義になることを祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。(拍手)

## 挨拶

東北大学附属図書館 館長 野家 啓一

ただいまご紹介いただきました東北大学附属図書館の野家でございます。常任幹事館の館長として一言ご挨拶申し上げます。

本日は、第63回東北地区大学図書館協議会の総会に遠路お運びいただき誠に有難うございました。また立派な会場をご提供、ご準備いただきました、いわき明星大学学長の高重先生、それから図書館長の清水先生はじめスタッフの皆様方に厚く御礼を申し上げます。

今朝、私は8時に仙台駅を出発して、常磐線に乗って11時過ぎでしたか、こちらに着きました。ですから、3時間ほど各駅停車の普通列車に揺られて来たわけですが、最近ほとんど新幹線しか使っていないものですから、常磐線の普通列車に乗ったという記憶が何年前だか思い出せないくらいで、その意味では大変貴重な経験をさせていただきました。このところ、よくスローフードとかスローライフということが言われますけれども、周りの景色をゆっくり味わいながらスロートラベルを久しぶりに楽しんだという、私にとっては大変新鮮な体験をしながら、会場のいわき明星大学にたどり着くことができました。

いまスロートラベルと申し上げましたが、それとは逆に、大学図書館の方最近、高速化といいますが、電子化といいますが、ファーストライブラリー化が進んでおります。たとえば、電子ジャーナルの問題、これは本日も確か私立部会の方で議論があるかと思えます。他にも大学の情報発信装置としての機関リポジトリ、これも議題の一つとして取り上げられています。それから、大学によっては、自動化書庫を導入しているところも増えてきています。つまり、パソコンで目当ての本をクリックすると、2分後位にはベルトコンベアに乗ってその本が手許に届くというシステムです。このように高速化と電子化に追い立てられ、さらには効率化への対応を迫られているのが大学図書館の現状です。

これまで大学の図書館というのは「静粛」という貼り紙が定番となっており、静寂を旨としてきたわけですが、最近ではラーニング・コモンズ、すなわち学生たちが複数で議論をし合う、わいわいがやがや、おしゃべりをしながら学習するスペースを備え付けるという動きが加速しています。先ほど学長先生から「アメニティー

空間」というお話がございましたけれども、いかめしい知の殿堂ではなく知の快適空間、学生にとっての居心地の良い居場所を図書館が提供するという方向へと大きく変わりつつあります。

なかでも電子情報の氾濫といえますか、デジタル化の流れは、極めて大きな変革を大学図書館に強いております、特に予算面では、各大学ともそのために非常に逼迫した状況にあります。そしてこうした動きは、高速化と電子化に象徴されるファーストライブラリー化、つまり出来るだけ早く必要な情報を検索してそれを手に入れるという方向に向っています。しかし、やはり図書館本来のあり方としては、スローライブラリーといえますか、埃を被った古文書を前にして日がな1日を過ごすというような、そういった世俗を離れた面も失ってはならないだろうと思います。

ですから、アメニティー空間というのは、1つには知りたいことを迅速に検索して必要な書籍や情報をきちんと手に入れることが出来るという意味での快適さと、それから日常の慌しさから一線を画してゆったりとした時間が流れる快適なスペース、その両方がなくてはならないだろうと思います。先ほどこの図書館の内外を少しばかり拝見しましたが、明るい雰囲気のカフェテラスが併設されており、高重先生はダサイと表現されましたが、そんなことはなくて、極めてソフィスケートされた空間が実現されているので大変感心いたしました。その意味で、大学図書館は効率性を追い求めるだけでなく、市場原理には還元できない「知の快樂」を味わえる場所であればならないと思っています。

このところ、紙媒体と電子媒体の両方をシームレスに利用できるハイブリットライブラリーということが盛んに言われていますけれども、もう1つ、情報を迅速に検索できるファーストライブラリーと、それからゆったりとした知的な時間を過ごせるスローライブラリーとのハイブリッド、そういった意味での図書館のハイブリット化も必要ではないかと、今朝ほど普通列車に揺られながら考えてきた次第です。

この協議会は国立、公立、私立の3つの、お互いに条件の異なる大学が一堂に会して、それぞれの持っている課題や悩み、あるいはこれからの方向性などを議論するまたとない機会です。もちろん国立同士、公立同士、私立同士という集まりもありますが、このように3者が合同して互いに意見をたたかわせて未来の方向性を探するという機会は、1年に1度開かれるこの協議会の場以外にはございません。本日は是非、それぞれの大学が抱えておられる問題を率直に出し合って、しっかりした議論の上でそ

の解決策や大学図書館が進むべき道筋を見定めていただければと存じます。

簡単ですがこれでご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)

## 議長団選出

議長団選出については、慣例により総会当番地区より選出することになっており今回は、福島地区となっているため、国立大学は福島大学附属図書館の星野館長、公立大学は福島県立医科大学附属学術情報センター関根室長、私立大学は当番大学いわき明星大学、清水館長をそれぞれ選出し、各議長から挨拶があり議事に入った。

## 総会

### 1 報告事項

#### ① 平成19年度会務報告について

(東北大学 加藤総務課長)

総会資料(以下「資料」という。)1頁と2頁に基づき、第62回総会以降の会務について次のとおり報告がなされた。

- 1) 平成19年度加盟館数について国立15、公立12、私立34の計61館である。
- 2) 平成19年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況について

平成19年度合同研修会は平成20年7月18日(金)に宮城教育大学が当番校となり次のとおり開催された。

テーマ：大学図書館と利用者サービス

(学習支援)

参加者：国・公・私立各加盟の38館から83名

なお、基調講演として「大学図書館と学習支援」その他3件の事例発表があった。

- 3) 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌第59号は、平成20年6月に450部発行し、加盟61館及び関係機関等へ配布済みである。

- 4) 幹事会について

幹事会は2回開催された。

第1回：平成20年7月24日(木)：第63回総会及び部会の議題等について

第2回：平成20年9月24日(木)：総会直前に第63回総会及び部会の運営について

- 5) 記念事業基金の造成について

平成19年度通常会計から記念事業基金として91,500円を繰り入れた。

6) 平成19年度会計監査について

9月9日、東北大学附属図書館において、会計監査館 青森県立保健大学及び東北大学院大学中央図書館による会計監査を受けた。

② 平成19年度一般報告及び各部会報告について

議長から平成19年度一般報告は、国立・公立・私立大学共通事項であることの説明をし、事前に加盟館に総会前に電子メール等で送付しているため資料3頁～5頁を参照することで報告は省略された。

【部会報告】

■国立部会報告

国立部会報告は資料6頁～8頁を参照することで報告は省略され、幹事館の東北大学（加藤総務課長）秋田大学（伊藤事務長）に特につけくわえることがあるかどうか確認をとった結果ないということだった。

■公立部会報告

公立部会報告は資料9頁～11頁を参照することで報告は省略され、幹事館の岩手県立大学（小原室長）に特につけくわえることがあるかどうか確認をとった結果ないということだった。

■私立部会報告

私立部会報告は資料12頁～15頁を参照することで報告は省略され、幹事館の東北福祉大学（石田次長）・郡山女子大学（和知係長）に特につけくわえることがあるかどうか確認をとった結果ないということだった。

③ ウェブサイト開設WGからの報告について

（常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐）  
資料16頁「東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGについて」に基づき説明がなされ、具体的内容については協議事項、報告事項資料集の29頁以降を参照することで報告は省略された。

④ フレッシュパーソンセミナー開催の報告について

（常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐）  
「平成19年度フレッシュパーソンセミナー開催」について資料17頁～18頁に基づき12月5日に開催されたことの説明がなされた。更にアンケートの集計結果については協議事項・報告事項資料の39頁を参照することで報告は省略された。

⑤ その他

議長から、報告事項は以上であるが、他に報告するものがないか確認したが特になかったため、報告事項を終了した。

2 協議事項

① 平成19年度決算報告（案）について

（常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐）  
資料19頁「平成19年度決算書（案）」に基づき収入および支出の報告がなされた。

② 平成19年度記念事業基金決算書（案）について

（常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐）  
資料20頁「平成19年度記念事業基金決算書（案）」に基づき報告がなされた。

③ 平成19年度会計監査報告

（東北学院大学 千葉課長補佐）

平成20年9月9日に東北大学附属図書館において会計監査館の青森県立大学附属図書館及び東北学院大学図書館職員の3名で平成19年度年度決算書及び平成19年度記念事業基金決算について監査を実施した結果、収支ともに厳正に処理され、かつ領収書、通帳等も適切に保管、記録されていて、相違ないことを確認した旨の報告がなされた。

④ 東北地区大学図書館協議会の研修について

研修検討WG主査（富士大学 井手参事役）からこれまでの検討結果について説明がされた。

【井手参事役説明】

富士大学の井手といいます。

昨年12月にこの研修検討WGのメンバーとして、主査を担当させていただきました。

研修WGの資料は、協議事項・報告事項資料集の1頁でございます。1頁から、全体のアンケートの結果もいれて、22頁までと長い資料ですがご覧ください。

1頁は、研修部会の設置についての提案ですが、その前に、WGの活動と提案の経緯について説明と報告をさせていただきたいと思います。協議事項資料の3頁目を見ていただければと思います。

東北地区大学図書館協議会における研修の充実に向けて、WGは2度の会議と、メールのやり取りがありました。また、アンケートを実施しました。その結果、1、2、3、というようなアンケートから見えた課題と改善に向け、そして実現に向けてどうしたらよいかということをお聞きいただいております。

この協議会の研修会は、合同研修会、それから、フレッシュパーソンセミナーなどがございますが、その間の参加、出席状況をみますと、盛り上がりにかけていたのではないかと思います。

また、最近の大学図書館の現状を見ますといろいろな問題があつて、研修の必要性を感じます。まずは、参加しやすい研修会をどうしたならば計画できるか。



第一回目の会議のポイントとなりました。この参加しやすいうことをキーワードに、アンケートをとらせていただいたところ、この協議会の加盟館ほとんどからアンケートの回答をいただきました。

回答結果につきましては、この協議事項資料の12頁から各、国公立の回答の内容等を載せさせていただいておりますけれども、これだけ関心が高いということが、見るとわかると思います。

そこで、このアンケートから見えてきたことですが、現場での問題点や職務中の問題点など、実践的なもの、通常業務のスキルアップにつながるもの、また、研修を開くとすれば、総会時に研修を開いたらどうか、そして、私立大学が主でしたけれど予算や時間的な余裕が無いなどでした。

しかし、その解決策としては、(1)として、集合型の研修会を開いていけないのか。

通常業務について参加者自信が発表したり、講演したり、この合同研修会で行っているようなことをさらに充実させること。また、総会中の講演会なども研修の場にしていくこと。それから研修の日程が、全国の研修会や、各県単位での研修会等々、講演会もあるかと思いますが、日程調節をすること。次に、不参加者に対する研修の成果のフィードバックをすること。これは不参加だけではなく、研修に参加した人たちが、参加してよかったというところで終わることなく、ウェブサイトなどに研修の内容を蓄積し、公開して、みんな、この東北地区の大学図書館協議会に参加している皆で、その成果を共有してほしい。ですから研修に参加していた人が始めての人であっても、どんな研修をやってきたかということを図書館に帰ってからも、こういう内容でしたということとそのホームページ上から、ウェブサイトを見ながら説明するなど、館内でも研修できる。

また、スキルアップのための業務相談などを（青森地区などでは行われているようです）、メーリングリストを作って、質問をしたり、教えあえたりということができればいいのではないかと。

このようなことを具体的に現実化していく方法は何かということをお考えすると、Webで研修の成果を共有するというようなことだと思います。協議会としてまた我々、現場のものにとっても有意義なものになると思います。そして、維持する体制に研修部会なるものを作ったらどうかと思います。実際に活用されれば、各図書館の管理職の方々にもご理解いただけるものになるのではないかと考えました。

現場では、実は私は、20年以上図書館に勤めておりましたが、この4月に突然、学生部に移され、図書館利用指導だけはやっていますが、学生部の仕事をしております。

大学図書館は公共図書館と違い、利用者が限定されます。研究者と学生が主です。その研究や勉強のための材料が図書館にあるわけです。これを提供することに努力をしていけば良いと考えておりましたが、学生部に移り、大学人でなければならないということを感じました。大学全体が何を望んでいるか、研究者に対しては、優れた研究成果を出していただき、大学の質を高めていただきながら、学生には、優れた人材として世に出てほしい。これを大学は望んでいるはずですが。

さて、実務については、先般の司書講習受講者の方の中に、大学図書館でアルバイトをしていたという方がおり、お話を聞きますと、図書館学を勉強しないで大学図書館の仕事をしていてもわからないことが多く、勉強を始めてはじめて充実した仕事ができたといいです。図書館の専門職としての必要な知識は変わりありませんが、現在の学術流通機関としてのネットワークを活用したものなど高度な知識が必要とされます。また、先ほど東北大学の館長先生からもお話あったような、スピーディさとそれから、ゆったりしたもの、と同じようなことだと思いますけれども、大学人として、また、図書館の専門職員として、迅速さと耐久的対応が必要であろうと思います。

もうひとつ、大学図書館を取り巻く状況の変化について、私も学生課に移ったように、図書館を専門として続けることがなく、指定管理システムとか、業務委託とかがあって、最近は変わっております。このような中でも、よい研究成果を出し、よい学生を輩出していく使命があります。その材料が図書館にあるのですから、図書館を有効活用するために、図書館の専門性について、研修し、高度な知識、技術を身に付ける必要があります。それをこの東北地区大学協議会として進めていきたいと私は思っています。

ちょっと長くなりました、申し訳ございません。

協議事項資料22頁には、WGのメンバーが紹介されています。国立部会から永井さん、飯沼さん、それから、公立部会から、福田さん、岩倉さん、それから、私立部会から、小松さん、私、大坂さん、特に東北大学医学部の永井さんには、事務局を引き受けていただきました、ご苦労いただきました。どうぞ、今後の協議につきましても、前向きにご健闘いただけますよう、よろしく願いいたします。

長くなりましたが、以上で終わります。

④ 東北地区大学図書館協議会の研修について・  
研修部会の設置について

(常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐)  
次に資料21頁に基づき、提案大学の常任幹事館より次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

第62回総会において、研修検討WGを設置し、東北地区大学図書館協議会における研修の充実に向けて、検討を重ねた結果、研修会運営の持ち回り体制は維持しつつ、研修に関する要望把握、成果公開等の作業を継続的に実行できる体制を整えるために、部会の設置を常置するという答申が提出された。

この答申に基づき、協議会に研修部会を設置することを提案するものである。

なお、研修部会設置要項(案)は、別添協議事項資料2頁を参照していただきたい旨説明がなされた。

⑤ 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について

(常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐)  
資料22頁「東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について」に基づき、提案大学の常任幹事館より次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

第60回総会において、ウェブサイト開設WGの設置が認められ、その設置目的に沿って種々活動を行ってきたが、当初の目的は達成されたので、さらに充実を図るためウェブサイト運用部会を設置し、加盟館職員及び他の図書関連機関に本協議会の活動状況を提供し、利用に供したい。

⑥ 東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について

(常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐)  
資料23頁「東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について」に基づき、提案大学の常任幹事館より次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

協議会誌第50号を発行する際、記念特集号としてこれまでの本協議会の歩みを掲載しているのので、第60回(平成21年5月頃発行予定)も同様に特集号として発行することを提案したい。

なお、掲載するものは、第54回総会から第63回までの分としたい。

⑦ 平成20年度合同研修会について

(常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐)  
資料24頁「平成20年度合同研修会について」に基づき、提案大学の常任幹事館より次のとおり提案理由の説明があり、各部会で協議した後、全体会議に報告願うこととした。

青森県が開催予定になっていること。事前に弘前大学に連絡し、了承いただいているので確認願いたい。

⑧ 平成20年度事業計画(案)について

(常任幹事館 東北大学 加藤総務課長)  
資料25頁「平成20年度事業計画(案)」に基づき以下4項目について提案説明がなされた。

1) 第63回総会の開催について

平成20年9月18日(木)いわき明星大学を当番館に実施。

会計年度に沿って本日開催のため事後承諾となること。

2) 記念特集号の刊行について

東北地区大学図書館協議会誌第60号の発行は、平成21年5月の予定としている。

3) 職員の表彰について

① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者

② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

③ 19年度については、各加盟館に照会をした結果、職員の表彰は推薦がなかった旨報告がなされた。

4) 研修会の開催(国・公・私立大学合同)について

開催当番地区として青森地区を予定としている。

5) 記念事業基金の造成

平成20年度通常会計から記念事業基金(91,500円)を繰り入れ予定としている。

⑨ 平成20年度予算書(案)について

⑩ 平成20年度記念事業基金予算書(案)について

(常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐)  
資料26頁「平成20年度予算書(案)」及び「平成20年度記念事業基金予算書(案)」に基づき昨年度からの変更点、特に予算が多くなった項目の説明がなされ、原案通り承認された。

⑪ 第64回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学 高橋総務課課長補佐)  
資料27頁「第64回総会の当番地区(館)について」に基づき第64回の当番地区は宮城地区であり、仙台白百合女子大学から内諾を得ているので確認願いたい。

い旨発言があり満場一致で承認された。

また、第65回の当番地区は秋田地区であることから、秋田地区の加盟館で協議いただき、来年の第64回総会において当番館を報告していただきたい旨依頼がなされた。

#### ⑫ その他（追加議題）

（山形大学附属図書館 鬼島）

（常任幹事館 東北大学 加藤総務課長

- 1) DFE地域ワークショップ（北海道・東北地区）実施要項(案)について（CSI領域2「共同リポジトリ：モデルの開発と普及」との合同ワークショップ）・追加資料別紙⑫に基づき山形大学から説明がされた後、東北大学からDFE地域ワークショップ開催について「東北地区大学図書館協議会」が共催するということで審議がなされ、満場一致で「東北地区大学図書館協議会」として共催することが承認された。

### 全体会議・各部会からの報告

#### ■国立部会

国立部会：秋田大学 渡會館長

- ① 東北地区大学図書館協議会の研修について
  - 1) 研修部会の設置について了承が得られた。
  - 2) 字句の修正について次のように意見が出された・研修部会設置要項内の字句研修部会とウェブサイト運用部会要項内の字句以下「部会」というについて整合性をとり、同じく以下「部会」というに統一する。
  - 3) 第3条の「主査及び」をとることにより、1項から3項の「委員」を「者」に修正する。
- ② 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について
  - 1) 運用部会設置について了承が得られた。
  - 2) 字句の修正について次のように意見が出された・研修部会設置要項内の字句研修部会とウェブサイト運用部会要項内の字句以下「部会」というについて整合性をとり、同じく以下「部会」というに統一する。
  - 3) 第3条の「主査及び」をとることにより、1項から3項の「委員」を「者」に修正する。
- ③ 東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について
  - 1) 第54回から、第63回までの分を掲載することで発行の了解が得られた。

#### ■公立部会

公立部会：岩手県立大学 小原室長

- ① 東北地区大学図書館協議会の研修について
  - 1) 研修部会の設置について了承が得られた。
  - 2) いろいろな形態の職員がいる（県派遣職員・委託・派遣会社から派遣された派遣社員・アルバイト）ため、研修部会で企画された研修すべてに職員を派遣するのは厳しい。今後eラーニング方式の研修の実施など必要なのではないかという意見が出された。
  - 3) いろいろな形態、委託あるいは派遣、それぞれの職種などの形態に応じた内容の研修も必要ではないかと意見が出された。
  - 4) 第6条の‘援助することができる’について‘援助しなければならない’のではないかということについて意見交換されたが、部会が主体的な企画なり活動して協議会全体としてバックアップしていくという解釈でよいのではないかということで了承された旨説明がなされた。

但し、協議会としては、部会のメンバーが、色々な面で負担にならないような支援をしていただきたいという意見がだされた。

- ② 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について
  - 1) 運用部会の設置について了承が得られたが表現的な事として次のような意見が出された。  
・24頁の目的について「協議会の活動を加盟館及び図書関連機関職員に広く公開すると共に」を「協議会の活動を広く公開すると共に、関連機関に有用な情報を提供する」旨変更の意見が出された。
  - 2) 東北地区大学図書館協議会の研修についての意見中、④と同じ意見が出された。
- ③ 東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について
  - 1) 特集号は、一覧表に各大学の連絡先の他にホームページアドレスも掲載していただきたいと要望が出された。

#### ■私立部会

私立部会：東北福祉大学 高橋館長

- ① 東北地区大学図書館協議会の研修について
  - 1) 研修部会の設置について了承が得られた。
- ② 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について
  - 1) ウェブサイト運用部会の設置について了承が得

られた。

- 2) 実際開設されて、3年たっているが、開設という文字が入っているの、取ることにより、恒常的に運用ができればよい。また、開設をとることによって格上げの形で運用部会を立ち上げることです承が得られた。

③ 東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号について

- 1) 予算も考えなければならないが、表紙を豪華にしてほしい。新しい企画を載せるなどの意見が出された。

○ その他

常任幹事館（東北大学）から、各部会からの字句の修正意見に対し、次のように説明が行われ、また、研修部会とウェブサイト運用部会の設置について了承を得た。

① 東北地区大学図書館協議会の研修について及び東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会の設置について

研修部会、ウェブサイト運用部会設置要項（案）の文言の修正について、幹事会で今後検討し、最終的に決定させていただきたい。

○ その他

議長から議論の共有化ということで各館に意見をもとめ、以下3項目について意見交換を行った。

- ・研修部会とウェブサイト運用部会の設置について
- ・eラーニング方式の研修について
- ・東北地区大学図書館協議会誌第60号記念特集号の内容とデザインについて

○ 事務局からの連絡事項・承認事項

- ・研修部会とウェブサイト運用部会の設置が、認められたことの確認。
- ・委員の推薦について各部会から推薦していただき、常任幹事館に報告していただきたいこと。
- ・設置が認められたが、20年度の予算案には、部会の活動費を計上していないため、予備費から支出することを承認したこと。
- ・記念特集号について、各館から原稿をいただき今後、幹事会で検討していくこと。

## 次期当番館挨拶

仙台白百合女子大学 大本図書館長

皆様、こんにちは。次期当番校の仙台白百合女子大学図書館長の大本泉と申します。

本日は、清水図書館長をはじめ、いわき明星大学図書館のスタッフの皆様、このようにきめ細やかな協議会の設営をしてくださいます、本当にありがとうございます。

さて、仙台白百合女子大学のことについて、少し触れさせていたきたいと思います。本学は、1966年に開学されました短期大学を1996年に昇華統合し、四年制大学になって、今年で12年目になります。1学部4学科、1学年定員数285名という小さな大学でございます。短期大学開設当初から、複数の校舎のフロアを一部とりまして、それを図書館と称しておりましたので、本当に不便でございました。そこで、2006年9月、旧2号館の校舎を全面的にリフォームしまして、「フォンス・サビエンティエ」という名の――これは、ラテン語で「知の泉」という意味なのですが――図書館棟がやっと出来ました。ご興味のある方は、近くにお越しくださいました時にでも、ぜひお立ち寄りくださいませ。そして、いろいろサジェスションして下されましたら幸いに存じます。

ところで、21世紀は、知識、情報の改革の時代と言われております。ですから図書館の改革の時代でもあり、図書館の可能性というものも、最も開かれた時代なのではないかと思っております。

けれども、さきほど述べましたように、特に本学のような小さな大学図書館は、限られた空間、人、お金の中で、どのように新しい時代に見合った図書館へと変革もしくは進化し、学生、教職員、さらに地域へ発信していくのか、といった大きな課題を抱えつつ、とにかく進み続けなければならないというのが現状だと存じます。このような問題を共有する図書館もあるのではないのでしょうか。

来年は、今申しあげました課題を念頭に置きつつ、特に、常任幹事館である東北大学附属図書館をはじめとして、皆様のご指導を仰ぎ、当番校を務めさせていただきたいと思っております。会場は、今のところ、できるだけ仙台の中心部と考えております。

来年、皆様と仙台にてお会いできますことを、楽しみにしております。

いろいろ不手際があるかとは存じますが、これからもご指導いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

## 総会開催について

当番館 いわき明星大学図書館 清水館長

常任幹事館の東北大学さんから、色々なマニュアルをおつくりいただきまして、不慣れな我々に色々ご指導いただき、ありがたく思っています。

それから、幹事館の秋田大学、岩手県立大学、東北福祉大学、郡山女子大学の各幹事館にもお世話になりました。ありがとうございました。

担当地区としまして、福島の大学の図書館の方々にもお世話になりました。ありがとうございました。

これで、閉会になるわけですがけれども、折角、議長をやっていた3人の先生方がいらっしやるので一言ずつ、ご挨拶をいただければありがたいと思います。

福島大学附属図書館 星野館長

福島県の国立大学としまして、議長団の一員として加わらせていただきまして、議事進行役を勤めさせていただきました。ご協力どうもありがとうございました。

それから、国立大学部会におきましては、簡単な報告ではあったのですが、大変熱心に色々ご討議いただきまして、直接、文言等には反映しなかった部分がございますけれども、大変貴重なご意見を熱心に討議していただきまして、改めて感謝を申し上げたいとおもいます。

それでは皆様方のご協力に感謝して、私の議長の任は解かせていただきたいと思えます。

福島県立医科大学附属学術情報センター 関根室長

福島県立医科大学の関根と申します。

本当に今日一日、皆様のご協力によりまして、何とか無事に終了させていただきました。ありがとうございました。

特に、部会におきまして、公立大学としていろんな形態の図書館、大学があるということ、私もなかなかほかの大学の状況がわからないなかで、本当に貴重な情報、知識を得ることが出来ました。

皆様には本当にご協力ありがとうございました。

本当にお世話になりました。

## 閉会のあいさつ

当番館 いわき明星大学図書館 清水館長

当番館として議長に選出していただきました、清水から最後のお礼の言葉を申し上げたいと思えます。

まず、遠くまでいらしていただきまして、本当にありがとうございました。

いわき明星大学はいったいどこにあるのか、そんな名

前は聞いたことが無い、という方も、頭の片隅に入れていただけたのではないかと考えております。

実は私は、図書館長の任をいただくには、一寸重荷でありました。学部が以前は工学部、今は、科学技術学部となります、そして以前は機械工学科と言う学科で、非常にアイデンティティがあったのですが、現在は改組をいたしまして、システムデザイン工学科という学科になりましたところに所属しております。システムデザイン工学科という名前にこれは失敗したなという、一寸、本音の部分では、よくわからないという意見が非常に多いようです。

ただ、英語ですとMechanical systems and design engineering 英語ではMechanicalという、機械という言葉が残っているのですが、一般のご父母の方々、高校生も含めてなかなか分かりにくく、私がやっていることも、わかりにくくなってしまったのか危惧しているところに所属しています。

研究ということの関係上、海外に行くこととか、国外で学会、会議で行くことも多いのですが、色々海外の人たちと話すチャンスも多く、海外から色々な勉強をさせていただくことも多く、こういう不慣れな図書館長を仰せつかって、非常に勉強させていただくことができました。

日本は非常に良い国だということは、海外に行っているも感じる事です。もちろん良いことばかりではなくて、直さなければいけないことも沢山あるのですが、その中で良い事も非常に多いということを感じ、日本に帰ってくるとほっとします。

いわきに来まして20年ですが、元々は東京の方で育ったのですが、だんだん言葉も、いわきの言葉が定着して来たような感じです。友達からは、大分なまりが出てきたねって言われるような状況です。

そのような中で、色々、今回大役を仰せつかって、なんとか済ませることが出来まして、ほっとしております。最後にもう一度、遠くまで皆さん来ていただきまして、本当にありがとうございました。東北大学の図書館長には、再度お礼申し上げたいと思えます。

どうも皆さん、ありがとうございました。(拍手)

## 第63回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

No.	大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
1	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	館 長	長谷川 成 一
2	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学術情報部長	諏訪田 義 美
3	弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学術情報課長	酒 井 量 基
4	岩手大学情報メディアセンター図書館	副 館 長	井 上 祥 史
5	岩手大学情報メディアセンター図書館	情報メディア課長	佐 藤 金 壽
6	東 北 大 学 附 属 図 書 館	館 長	野 家 啓 一
7	東 北 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	北 村 明 久
8	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 長	加 藤 信 哉
9	東 北 大 学 附 属 図 書 館	総務課課長補佐	高 橋 信 野
10	東北大学附属図書館医学分館	整 理 係 長	松 元 義 正
11	宮城教育大学附属図書館	館 長	青 木 守 弘
12	宮城教育大学附属図書館	図 書 館 主 幹	齋 藤 茂
13	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	館 長	渡 會 二 郎
14	秋 田 大 学 附 属 図 書 館	事 務 長	伊 藤 重 範
15	山 形 大 学 附 属 図 書 館	館 長	原 慶 明
16	山 形 大 学 附 属 図 書 館	企画部図書情報 企画ユニット長	迎 田 伊三郎
17	山 形 大 学 附 属 図 書 館	小白川事務部 小白川図書ユニット長	鬼 島 百合子
18	福 島 大 学 附 属 図 書 館	館 長	星 野 珙 二
19	福 島 大 学 附 属 図 書 館	学術情報グループリーダー	鈴 木 三 男
20	福 島 大 学 附 属 図 書 館	学術情報サービス専門役	小 椋 正 行

(公 立)

No.	大 学 図 書 館 等 名	職 名	氏 名
1	青森県立保健大学附属図書館	主 査	小 野 由 美
2	岩手県立大学メディアセンター	教育・学生支援室長	小 原 一 信
3	宮城大学総合情報センター	副センター長	高 橋 浩
4	宮城大学総合情報センター	次長(企画情報班長)	安 部 正 則
5	秋田県立大学本荘キャンパス 図書・情報センター	図書情報委員	安 原 盛 彦
6	国 際 教 養 大 学 図 書 館	館 長	勝 又 美智雄
7	山形県立保健医療大学附属図書館	館 長	内 田 勝 雄
8	会津大学情報センター附属図書館	主 任 司 書	藤 津 麻 里
9	会津大学短期大学部附属図書館	館 長	安 江 俊 二
10	福島県立医科大学附属学術情報センター	室 長	関 根 俊 一
11	福島県立医科大学附属学術情報センター	主 任 司 書	古 川 聖 子

## (私 立)

No.	大学図書館名	職 名	氏 名
1	八戸大学・八戸短期大学図書館	事務室長(司書)	小 松 良 重
2	八戸工業大学図書館		松 川 勉
3	岩手医科大学附属図書館	矢巾キャンパス事務室係長	芳 賀 真理子
4	富士大学図書館	参 事 役	井 手 俊 一
5	富士大学図書館	司 書	小 林 淑 子
6	盛岡大学図書館	総 務 係 長	関 口 悦 子
7	仙台大学附属図書館	館 長	三 浦 望 慶
8	仙台白百合女子大学図書館	館 長	大 本 泉
9	仙台白百合女子大学図書館	事 務 長	生 出 登
10	石巻専修大学図書館	館 長	羽 田 紘 一
11	石巻専修大学図書館	主 任	相 澤 浩 美
12	東北学院大学中央図書館	館 長	佐 藤 司 郎
13	東北学院大学中央図書館	図書情報課長補佐	千 葉 裕
14	東北工業大学附属図書館	事 務 長	早 坂 のり子
15	東北福祉大学図書館	館 長	高 橋 美由紀
16	東北福祉大学図書館	次 長	石 田 信 孝
17	東北福祉大学図書館	課 長	本 間 雅 人
18	東北文化学園大学総合情報センター図書館	司 書	西 村 美 雪
19	東北薬科大学附属図書館	司 書	島 田 あすか
20	宮城学院女子大学図書館	図書館情報部委員	志 村 文 隆
21	宮城学院女子大学図書館	事務部長補佐	大 坂 田 茂子
22	羽陽学園短期大学附属図書館	館 長	研 攻 一
23	いわき明星大学図書館	館 長	清 水 信 行
24	いわき明星大学図書館	学術情報センター長補佐 ・グループ長	片 見 智 子
25	いわき明星大学図書館	司 書	石 井 美 樹
26	奥羽大学図書館	課 長	伊 藤 喜 章
27	郡山女子大学図書館	司 書 係 長	和 知 剛
28	東日本国際大学・いわき短期大学 学術情報センター	学術情報センター長	砂 田 登士夫
29	東日本国際大学・いわき短期大学 学術情報センター	係 長	志 賀 義 代
30	東日本国際大学・いわき短期大学 学術情報センター	主 任 ・ 司 書	小 林 陽 子
31	東日本国際大学・いわき短期大学 学術情報センター	司 書	酒 井 富美子



# 図書館統計年報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成20年3月31日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵書冊数					平成19年度増加冊数			平成 19年度 図書 購入費
		図書館 職員	内臨時 職員	和書	洋書	計	内開架 図書	内指定 図書	和書	洋書	計	
	m <sup>2</sup>	人	人	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	千円
弘前大学	6,102	19	10	465,519	155,641	621,160	114,693	—	7,439	929	8,368	19,238
(〃医学部分館)	1,364	8	3	62,439	68,039	130,478	28,612	—	1,083	994	2,077	2,305
(〃保健学科分室)	317	3	2	39,183	5,015	44,198	36,967	—	536	60	596	2,053
岩手大学	9,089	23	8	657,561	193,343	850,904	186,732	13,155	8,649	1,566	10,215	27,181
東北大学	18,215	55	28	1,402,401	1,115,262	2,517,663	153,501	—	29,842	10,265	40,107	180,436
〃医学分館	4,476	19	12	165,014	261,419	426,433	426,433	—	2,520	3,021	5,541	7,307
〃北青葉山分館	3,356	10	6	74,592	293,219	367,811	327,475	—	1,041	3,066	4,107	125,945
〃工学分館	5,355	18	8	154,091	171,742	325,833	325,833	—	3,367	2,525	5,892	31,369
〃農学分館	1,279	6	2	72,766	60,456	133,222	87,925	—	1,070	736	1,806	3,927
宮城教育大学	2,934	10	3	285,414	47,942	333,356	325,771	—	5,979	522	6,501	13,261
秋田大学	4,493	20	12	286,405	109,597	396,002	85,035	—	3,717	665	4,382	13,488
〃医学部分館	1,648	7	4	45,171	57,733	102,904	—	—	1,390	897	2,287	7,230
山形大学	7,626	18	7	512,317	179,576	691,893	151,823	—	6,853	1,676	8,529	37,167
〃医学部分館	1,195	5	2	35,230	65,026	100,256	100,256	—	822	202	1,024	5,688
〃工学部分館	3,290	6	3	115,145	55,248	170,393	64,276	—	1,662	511	2,173	13,372
〃農学分館	969	3	1	74,512	17,284	91,796	10,943	—	1,590	213	1,803	3,587
福島大学	7,218	13	0	600,847	223,336	824,183	115,017	—	7,445	1,650	9,095	24,244
青森公立大学	3,337	4	2	104,152	41,949	146,101	146,101	—	4,275	364	4,639	24,427
青森県保健大	1,850	5	3	67,292	22,973	90,265	90,265	—	3,235	317	3,552	13,738
岩手県立大学	6,425	7	0	174,422	55,942	230,364	—	—	1,092	52	1,144	36,931
宮城大和キャンパス	2,912	6	4	63,926	13,670	77,596	59,999	374	4,787	68	4,855	12,534
〃太白キャンパス	943	5	3	42,134	6,058	48,192	35,222	220	2,052	35	2,087	8,529
秋田県立大学	5,301	10	8	148,069	29,075	177,144	131,335	0	6,864	747	7,611	20,378
秋田公美工短	1,194	兼任2	兼任9	28,069	6,938	35,007	28,005	0	1,488	192	1,680	5,996
国際教養大学	1,973	5	3	14,487	40,100	54,587	—	—	1,296	1,445	2,741	17,477
山形保健医大	890	6	5	47,378	6,377	53,755	—	—	2,074	82	2,156	4,051
米沢女子短大	1,144	5	2	94,154	7,016	101,170	101,170	—	3,396	513	3,909	2,406
会津大学	2,446	9	4	55,290	70,475	125,765	70,240	—	499	240	739	1,873
会津大学短大	443	2	0	63,292	7,170	70,462	—	—	886	26	912	1,566
福島県立医大	3,400	13	3	115,568	90,696	206,264	191,161	—	2,634	1,211	3,845	76,114
青森大学青森短期大	2,150	4	0	128,011	21,963	149,974	—	—	1,924	671	2,595	4,873
東北女子大学	247	2	0	31,462	4,337	35,799	35,799	—	710	73	783	3,257
八戸大学・八戸短期大	1,636	3	0	135,817	13,385	149,202	70,000	1,200	3,216	182	3,398	6,950
八戸工業大学	2,369	9	0	99,020	25,545	124,565	881	—	1,308	41	1,349	5,633
弘前学院大学	1,280	3	0	78,373	18,422	96,795	96,795	—	1,715	78	1,793	3,530
岩手医科大学	4,966	14	5	133,381	132,816	266,197	241,106	—	2,566	1,419	3,985	12,196
富士大学	1,255	5	1	139,442	29,078	168,520	44,823	206	5,412	472	5,884	13,188
盛岡大学	2,081	7	2	133,014	21,585	154,599	65,770	—	-15	186	171	8,936
修紅短期大	206	2	0	21,466	424	21,890	21,890	—	343	0	343	786
岩手看護短大	183	3	1	17,158	2,345	19,503	19,503	—	563	5	568	2,080
仙台大学	1,120	3	0	82,539	15,470	98,009	—	—	4,254	520	4,774	2,998
仙台白百合女子大	1,442	6	2	69,115	9,487	78,602	78,602	342	2,935	157	3,092	15,398
石巻専修大学	3,496	6	0	95,013	56,082	151,095	—	—	2,164	884	3,048	9,251
東北学院大学中央	7,602	35	21	417,903	285,388	703,291	26,145	—	11,454	5,690	17,144	104,353
東北学院大多賀城	2,776	7	3	94,312	56,809	151,121	151,121	—	1,872	669	2,541	20,065
東北学院大泉	6,100	13	7	186,291	92,076	278,367	106,990	—	6,501	1,774	8,275	51,997
東北工業大学	3,409	6	2	163,089	50,975	214,064	52,398	—	7,851	1,433	9,284	37,567
東北福祉大学	4,058	15	3	250,090	63,436	313,526	127,565	—	9,575	1,056	10,631	58,414
東北文化学園	1,982	4	0	78,428	14,507	92,935	21,864	0	4,512	187	4,699	14,339
東北薬科大学	1,392	6	3	56,354	40,434	96,788	14,693	—	1,058	878	1,936	6,473
宮城学院女大	3,215	11	5	285,667	100,406	386,073	42,325	638	6,145	1,014	7,159	36,391
尚綱学院大学	807	6	0	95,835	20,158	115,993	—	287	1,329	136	1,465	18,669
聖和学園短大	428	2	1	50,589	1,281	51,870	31,579	—	544	2	546	1,615
ノースアジア大学	1,689	5	0	143,140	28,260	171,400	87,599	—	1,469	13	1,482	5,682
東北芸工大学	2,155	3	0	110,614	13,323	123,937	123,937	—	16,775	534	17,309	18,881
羽陽学園短大	705	2	0	50,644	2,319	52,963	52,963	111	1,105	7	1,112	3,549
山形短期大学	1,533	5	2	98,931	8,123	107,054	68,763	366	1,929	4	1,933	6,304
いわき明星大	4,942	3	0	162,854	52,350	215,204	53,933	—	7,670	1,293	8,963	67,145
奥羽大学	2,635	7	0	140,231	90,210	230,441	230,441	—	1,696	966	2,662	5,909
郡山女子大学	1,651	4	0	92,820	14,285	107,105	90,000	—	2,842	200	3,042	5,205
東日本国際大	1,221	4	0	63,970	10,087	74,057	74,057	—	1,242	56	1,298	3,652
日本大工学部	5,006	15	10	217,425	121,608	339,033	339,033	—	2,375	1,274	3,649	14,406
桜の聖母短大	642	2	1	43,701	8,663	52,364	52,364	—	1,118	100	1,218	2,855
福島学院大学	2,254	6	4	73,094	5,639	78,733	78,733	—	2,396	6	2,402	3,576



## (3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成19年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費		
				受付数			内購入分				冊数	金額	
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計				千円
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	14,204	3,936	18,140	2,664	373	3,037	544	292	836	36,891	245	412	
(〃保健学科分室)	3,542	2,422	5,964	669	347	1,016	75	229	304	33,514	668	1,184	
岩手大学	594	142	736	256	22	278	38	16	54	1,324	107	184	
東北大学	8,220	2,100	10,320	5,716	496	442	442	335	777	24,607	1,239	2,158	
〃医学分館	23,671	16,338	40,009	5,460	2,921	8,381	1,389	1,934	3,323	282,225	5,795	1,726	
〃北青葉山分館	4,564	8,841	13,405	1,678	1,473	3,151	559	1,237	1,796	175,440	4,283	7,701	
〃工学分館	1,678	6,635	8,313	1,439	721	2,160	93	559	652	114,162	2,494	4,878	
〃農学分館	3,469	3,997	7,466	1,098	692	1,790	253	601	854	110,598	1,911	2,821	
宮城教育大学	2,938	1,941	4,879	1,107	450	1,557	135	210	345	26,893	922	1,200	
秋田大学	5,008	786	5,794	1,230	137	1,367	498	110	608	9,558	461	938	
〃医学部分館	6,358	2,521	8,879	1,392	317	1,709	336	282	618	29,275	642	1,126	
山形大学	1,543	1,642	3,185	638	310	948	156	262	418	28,349	946	1,657	
〃医学部分館	9,516	3,116	12,632	2,754	606	3,360	572	317	889	19,216	19	55	
〃工学部分館	3,051	2,187	5,238	711	462	1,173	172	364	536	38,347	100	178	
〃農学分館	1,444	1,246	2,690	325	102	427	49	44	93	8,948	289	511	
福島大学	1,178	404	1,582	809	25	834	89	20	109	2,861	287	498	
青森公立大学	10,217	3,061	13,278	2,924	415	3,339	541	317	858	24,577	2,247	3,742	
青森県保健大	363	720	1,083	250	222	472	250	222	472	23,956	300	595	
岩手県立大学	812	258	1,070	534	160	694	249	151	400	21,308	729	1,446	
宮城大学大和キャンパス	427	217	644	409	208	617	404	208	612	22,852	974	1,875	
〃太白キャンパス	694	379	1,073	311	102	413	237	102	339	14,514	0	0	
秋田県立大学	390	136	526	174	64	238	143	63	206	8,074	0	0	
秋田公美工短	2,030	867	2,897	1,023	381	1,404	450	314	764	37,530	1,227	2,209	
国際教養大学	95	66	161	63	29	92	61	29	90	1,735	0	0	
山形保健医大	55	139	194	71	93	164	56	84	140	2,650	111	198	
米沢女子短大	894	186	1,080	350	124	474	94	91	185	8,835	0	0	
会津大学	124	23	147	124	23	147	115	23	138	2,901	201	108	
会津大学短大	533	817	1,350	251	240	491	94	240	334	37,739	0	0	
福島県立医大	96	89	185	92	25	117	92	25	117	2,492	0	0	
青森大学・青森短期大学	4,490	2,949	7,439	1,015	353	1,368	283	266	549	54,749	1,713	2,611	
東北女子大学	160	84	244	160	84	244	112	84	196	12,004	0	0	
八戸大学・八戸短期大学	314	21	335	0	0	0	66	21	87	3,577	85	240	
弘前学院大学	815	101	916	747	68	815	161	59	220	5,650	0	0	
岩手医科大学	862	611	1,473	98	91	189	94	91	185	2,032	0	0	
富士大学	744	47	791	104	48	152	104	48	152	3,530	197	331	
盛岡大学	4,303	2,685	6,988	1,369	508	1,877	396	382	778	51,904	2,190	3,795	
修紅短期大学	2,449	225	2,674	1,174	66	1,240	111	66	177	8,427	627	1,195	
岩手看護短大	2,630	203	2,833	1,093	56	1,149	152	55	207	6,098	26	47	
仙台大学	53	3	56	51	0	51	33	0	33	345	41	86	
仙台白百合女子大	188	52	240	64	6	70	53	6	59	1,160	79	170	
石巻専修大学	1,295	160	1,455	117	79	196	117	79	196	7,073	317	602	
東北学院大学中央	278	91	369	206	83	289	193	83	276	10,318	245	514	
東北学院大多賀城	233	137	370	220	135	355	191	130	321	49,715	1,060	1,935	
東北学院大泉	7,138	1,991	9,129	2,173	400	2,573	320	378	698	31,919	762	1,498	
東北工業大学	1,636	1,307	2,943	653	257	910	252	229	481	55,680	441	899	
東北福祉大学	2,447	897	3,344	703	394	1,097	344	388	732	54,594	778	1,511	
東北文化学園	1,171	605	1,776	689	298	987	221	278	499	46,864	943	2,080	
東北薬科大学	3,945	737	4,682	2,060	364	2,424	526	336	862	35,506	927	5,077	
宮城学院女大	1,403	106	1,509	127	41	168	127	41	168	13,021	358	601	
尚絅学院大学	484	434	918	205	114	319	38	98	136	21,056	952	1,993	
聖和学園短大	6,508	748	7,256	1,362	270	1,632	394	241	635	26,014	0	315	
ノースアジア大学	783	214	997	256	72	328	240	70	310	7,563	49	90	
東北芸工大学	76	1	77	289	1	290	66	1	67	642	19	40	
羽陽学園短大	1,957	270	2,227	879	93	972	128	91	219	6,585	137	236	
山形短期大学	211	116	327	163	54	217	163	54	217	376	0	0	
いわき明星大	112	13	125	75	6	81	72	6	78	1,188	89	192	
奥羽大学	126	32	158	92	9	101	92	9	101	2,097	0	0	
郡山女子大学	723	429	1,152	296	134	430	294	134	428	32,442	835	1,323	
東日本国際大	1,088	1,241	2,329	548	240	788	226	208	434	52,892	1,487	2,602	
日本大工学部	6	1	7	166	15	181	156	14	170	3,942	350	625	
桜の聖母短大	204	76	280	552	48	600	115	44	159	4,838	180	342	
福島学院大学	1,607	1,338	2,945	384	290	674	343	286	629	30,442	1,690	3,177	
	124	36	160	84	19	103	79	18	97	1,782	71	134	
	107	32	139	107	32	139	102	32	134	4,725	19	40	

# 協 議 会 総 会 会 場 一 覧

回	年	所在地	会 場 大 学	備 考	回	年	所在地	会 場 大 学	備 考
1	昭和22	宮 城	東 北 大 学		33	53	福 島	福 島 大 学	③
2	23	"	仙 台 工 業 専 門 学 校		34	54	宮 城	東 北 福 祉 大 学	
3	24	"	東 北 学 院 大 学		35	55	秋 田	秋 田 大 学	④
4	24	"	東 北 大 学	②	36	56	山 形	山 形 大 学	⑤
5	25	岩 手	岩 手 大 学		37	57	宮 城	宮 城 学 院 女 子 大 学	②
6	26	山 形	山 形 大 学		38	58	青 森	弘 前 大 学	⑤
7	27	青 森	弘 前 大 学		39	59	岩 手	岩 手 医 科 大 学	②
8	28	福 島	福 島 大 学		40	60	宮 城	東 北 大 学	⑤
9	29	秋 田	秋 田 大 学		41	61	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学	③
10	30	宮 城	宮 城 学 院 女 子 大 学		42	62	秋 田	秋 田 大 学	⑤
11	31	岩 手	岩 手 医 科 大 学		43	63	宮 城	東 北 学 院 大 学	③
12	32	山 形	山 形 大 学	②	平成				
13	33	秋 田	秋 田 大 学	②	44	元	山 形	山 形 大 学	⑥
14	34	青 森	弘 前 大 学	②	45	2	青 森	弘 前 大 学	⑥
15	35	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学		46	3	宮 城	石 巻 専 修 大 学	
16	36	宮 城	東 北 大 学	③	47	4	岩 手	富 士 大 学	
17	37	岩 手	岩 手 大 学	②	48	5	福 島	郡 山 女 子 大 学	
18	38	福 島	福 島 大 学	②	49	6	宮 城	東 北 薬 科 大 学	②
19	39	宮 城	東 北 学 院 大 学	②	50	7	秋 田	秋 田 経 済 法 科 大 学	②
20	40	秋 田	秋 田 大 学	③	51	8	山 形	山 形 大 学	⑦
21	41	山 形	山 形 大 学	③	52	9	宮 城	東 北 工 業 大 学	②
22	42	宮 城	東 北 薬 科 大 学		53	10	青 森	青 森 公 立 大 学	
23	43	青 森	弘 前 大 学	③	54	11	岩 手	盛 岡 大 学・盛 岡 大 学 短 期 大 学	
24	44	岩 手	奥 州 大 学		55	12	宮 城	宮 城 教 育 大 学	②
25	45	宮 城	東 北 工 業 大 学		56	13	福 島	奥 羽 大 学	
26	46	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学	②	57	14	秋 田	秋 田 県 立 大 学	
27	47	秋 田	秋 田 経 済 大 学		58	15	宮 城	東 北 福 祉 大 学	②
28	48	宮 城	宮 城 教 育 大 学		59	16	山 形	山 形 大 学	⑧
29	49	山 形	山 形 大 学	④	60	17	青 森	青 森 大 学・青 森 短 期 大 学	
30	50	青 森	弘 前 大 学	④	61	18	宮 城	宮 城 大 学	
31	51	宮 城	東 北 大 学	④	62	19	岩 手	岩 手 県 立 大 学	
32	52	岩 手	岩 手 大 学	③	63	20	福 島	い わ き 明 星 大 学	
					64	21	宮 城		

※ 第57回総会において第59回から64回までの当番地区が確認された。

# 東北地区大学図書館協議会役員館一覧【第46回(平成3)～第62回(平成19)】

	常任幹事館	幹事館			会計監査館			審査委員館 第62回総会から 論文審査館(平成19年8月まで)		
		(国立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)	(私立)	
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学	宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学	東北福祉大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学	東北工業大学 日本大学工学部		
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学		
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学		
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学		
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学		
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台白百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学		
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学	仙台白百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学		
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学		
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学		

# 東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また随時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

## 附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）

この会則は平成6年9月21日から施行する。

## ○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

### 6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

## 東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

2. 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
3. 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
4. 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

2. 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

1. この規程は平成19年9月20日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

# 東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。

第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。

(1) 図書館活動における業績業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。

(2) 図書館情報学の研究、調査等の業績図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。

(3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。

第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。

第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。

推薦は、別紙文書により行う。

2. 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。

第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。

第6 審査は、会議又はその他の方法による。

第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。

第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。

第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。

第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。

第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。

第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

## 附 則

1. この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。

2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

.....  
表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります  
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

.....  
表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました  
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会



(別紙)

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

〇〇 大学附属図書館長 殿

〇〇 大学(附属) 図書館長

〇〇〇〇 公印

表 彰 者 の 推 薦 に つ い て

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお  
取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

(第2条第1号該当者)

表 彰 者 推 薦 調 書

〇〇 大学(附属) 図書館

職 名		氏 名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推 薦 理 由								
業 績 等	研究のテーマ 又は調査事項							
	発表集会等名							
	発表年月日							
	掲載誌名及び巻号							
	発行年月日							
	発行機関							
当該業績等に係る他組 織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)								
図 書 館 業 務 歴								

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の蘭は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。



# 東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

(平成14年9月20日)

東北地区大学図書館協議会

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

## 記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

# 東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回  
国立大学図書館東北地区協議会決定  
平成16年4月22日 第35回  
東北地区国立大学図書館協会改正

## (目的)

第1条 東北地区国立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

## (地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。  
2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

## (地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。  
2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して、協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。  
3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。  
4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。  
5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

## (会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。  
2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

## (雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

## 附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

## 附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

# 東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

## （目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

## （地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

## （被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況等を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

## （地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

## （会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

## （雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

## 附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

# 加 盟 館 職 員 名 簿

(平成21年4月1日現在)

## 【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39-3155

FAX番号 (0172) 39-3171

E-mail jm3155@cc.hirosaki-u.ac.jp

館長 (併)教授 長谷川 成一  
事務責任者 学術情報部長 新谷 哲雄

## 【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621-6082

FAX番号 (019) 621-6088

E-mail lsomu@iwate-u.ac.jp

情報メディアセンター長 大塚 尚寛  
(副学長 環境・情報統括管理担当)  
事務責任者 情報メディア課長 佐藤 金壽

## 【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795-5911

FAX番号 (022) 795-5909

E-mail sinyu-ta@bureau.tohoku.ac.jp

館長 理事 野家 啓一  
副館長 (併)教授 倉本 義夫  
事務責任者 事務部長 片山 俊治

## 【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717-7973

FAX番号 (022) 717-7982

E-mail lib-med@bureau.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 柳澤 輝行  
事務責任者 事務長 高橋 信野

## 【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795-6368

FAX番号 (022) 795-3753

E-mail klib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 佐藤 春夫  
事務責任者 管理係長 芳賀 博

## 【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795-5892

FAX番号 (022) 795-7120

E-mail elib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 吉野 博  
事務責任者 図書館専門員 松井 好次

## 【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717-8882

FAX番号 (022) 274-2127

E-mail alib@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 山下 まり  
事務責任者 図書係長 大原 正一

## 【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214-3348

FAX番号 (022) 214-3351

E-mail toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

館長 (併)教授 萬 伸介  
事務責任者 事務課・図書課長 吉田 龍哉

## 【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889-2273

FAX番号 (018) 832-4917

E-mail soumu@lib.akita-u.ac.jp

館長 (併)教授 大好 直  
事務責任者 図書館・情報課長 碓子 洋行

## 【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884-6052

FAX番号 (018) 884-6252

E-mail hara@lib.akita-u.ac.jp

分館長 (併)教授 阿部 寛  
事務責任者 図書係長 原 智子

**【山形大学附属図書館】**

電話番号 (023) 628 - 4016

FAX番号 (023) 628 - 4075

E-mail k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 原 慶 明  
 学術情報部長 企画部図書情報 迎 田 伊三郎  
 企画ユニット長

**【山形大学附属図書館中央図書館】**

電話番号 (023) 628 - 4904

FAX番号 (023) 628 - 4909

E-mail jkasomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 原 慶 明  
 事務責任者 小白川事務部 細 谷 美千枝  
 小白川ユニット長

**【山形大学附属図書館医学部分館】**

電話番号 (023) 628 - 5054

FAX番号 (023) 628 - 5059

E-mail itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

分館長 (併)教授 青 柳 優  
 事務責任者 図書チームリーダー 鈴 木 みち子

**【山形大学附属図書館工学部分館】**

電話番号 (0238) 26 - 3019

FAX番号 (0238) 26 - 3408

E-mail koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

分館長 (併)教授 仁 科 辰 夫  
 事務責任者 チームリーダー 石 山 博 子

**【山形大学附属図書館農学部分館】**

電話番号 (0235) 28 - 2810

FAX番号 (0235) 28 - 2815

E-mail notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

分館長 (併)教授 高 橋 教 夫  
 事務責任者 チームリーダー 青 野 康 雄

**【福島大学附属図書館】**

電話番号 (024) 548 - 8083

FAX番号 (024) 548 - 2377

E-mail k-somu@lib.fukushima-u.ac.jp

館長 (併)教授 星 野 珙 二  
 事務責任者 学術情報グループリーダー 鈴 木 三 男

**【青森公立大学図書館】**

電話番号 (017) 764 - 1551

FAX番号 (017) 764 - 1591

E-mail lib@bb.nebuta.ac.jp

館長 (併)教授 佐 藤 和 弘  
 事務責任者 主 幹 齊 藤 仁

**【青森県立保健大学附属図書館】**

電話番号 (017) 765 - 2011

FAX番号 (017) 765 - 2012

E-mail y\_ono@auhw.ac.jp

館長 (併)教授 入 江 良 平  
 事務責任者 図書課長 石 川 順 一

**【岩手県立大学メディアセンター】**

電話番号 (019) 694 - 2070

FAX番号 (019) 694 - 2071

E-mail ipu-library@ml.iwate-pu.ac.jp

メディアセンター長 副 学 長 幸 丸 政 明  
 宮古短期大学部図書館長 学 科 長 菊 池 幸 吉  
 事務責任者 教育学生支援室長 高 橋 一 夫

**【宮城大学総合情報センター】**

電話番号 (022) 377 - 8313・8314

FAX番号 (022) 377 - 8383

E-mail tosho@myu.ac.jp

館長 (併)教授 山 田 嘉 明  
 (大和キャンパス図書館)

事務責任者 総務課企画 安 部 正 則  
 グループリーダー

(太白キャンパス図書館)

電話番号 (022) 245 - 1043・1046

FAX番号 (022) 245 - 2214

E-mail f-tosho@myu.ac.jp

事務責任者 総務学務課総務 小野寺 敏 美  
 グループリーダー

**【秋田県立大学図書・情報センター】**

電話番号 (018) 872 - 1561

FAX番号 (018) 872 - 1674

E-mail a\_library@akita-pu.ac.jp

図書情報センター長 (併)教授 森 宏 一  
 事務責任者 総括リーダー 佐々木 健 二

**【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】**

電話番号 (018) 888 - 8106

FAX番号 (018) 888 - 8107

E-mail counter@amcac.ac.jp

館長 (併)教授 松本 研一  
事務責任者 主席主査 佐藤 咲子**【国際教養大学図書館】**

電話番号 (018) 886 - 5907

FAX番号 (018) 886 - 5912

E-mail katsuula@aiu.ac.jp

館長 (併)教授 勝又 美智雄  
事務責任者 参事兼教務課長 加藤 泰久**【山形県立保健医療大学附属図書館】**

電話番号 (023) 686 - 6671

FAX番号 (023) 686 - 6679

E-mail nokubo@yachts.ac.jp

館長 (併)教授 内田 勝雄  
事務責任者 図書館情報主査 大久保 紀子**【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】**

電話番号 (0238) 22 - 7334

FAX番号 (0238) 22 - 7334

E-mail matsuura@yone.ac.jp

館長 教授 山田 則子  
事務責任者 図書館管理専門員 松浦 恒三**【会津大学情報センター附属図書館】**

電話番号 (0242) 37 - 2545

FAX番号 (0242) 37 - 2554

E-mail library@u-aizu.ac.jp

情報センター長 (併)教授 G. ニキシコフ  
事務責任者 主幹兼事務長 松下 進**【会津大学短期大学部附属図書館】**

電話番号 (0242) 37 - 2458

FAX番号 (0242) 37 - 2412

E-mail tosho@u-aizu.ac.jp

館長 (併)教授 安江 俊二  
事務責任者 主任司書 秋葉 康江**【福島県立医科大学附属学術情報センター】**

電話番号 (024) 547 - 1687

FAX番号 (024) 547 - 1996

E-mail lib@fmu.ac.jp

センター長 (併)教授 八木沼 洋行  
事務責任者 学生課長(兼) 関根 俊一  
学術情報室長**【青森大学・青森短期大学附属図書館】**

電話番号 (017) 738 - 2001 (内) 441 ~ 442 (本館)

FAX番号 (017) 738 - 2034 (短期大学)

E-mail hisumi@aomori-u.ac.jp

館長 (併)教授 菅 勝彦  
事務責任者 主任 下山 修司  
(本館担当)**【東北女子大学附属図書館】**

電話番号 (0172) 33 - 2289

FAX番号 (0172) 33 - 2486

E-mail tosyo@tojo.ac.jp

館長 (併)教授 安達 弘潮

**【八戸大学・八戸短期大学図書館】**

電話番号 (0178) 30 - 1695

FAX番号 (0178) 30 - 1737

E-mail komatsu@kg.hachinohe-u.ac.jp

館長 (併)教授 前山 総一郎  
事務責任者 事務室長 小松 良重**【八戸工業大学図書館】**

電話番号 (0178) 25 - 8032

FAX番号 (0178) 25 - 8887

E-mail tosyo@hi-tech.ac.jp

館長 (併)教授 齋藤 正博  
図書館次長 (併)教授 武山 泰  
事務責任者 (参事)事務長 小西 孝則**【弘前学院大学附属図書館】**

電話番号 (0172) 34 - 5211 (内) 153

FAX番号 (0172) 38 - 4071

E-mail sisyo2@hirogaku-u.ac.jp

館長 (併)教授 大野 拓哉  
事務責任者 主任司書 佐藤 まり



**【岩手医科大学附属図書館】**

電話番号 (019) 651 - 5111

FAX番号 (019) 625 - 8030

E-mail ryoko.sugawara@j.iwate-med.ac.jp

館長 (併)教授 澤井高志  
 分館長 (併)教授 上原至雅  
 事務責任者 事務室長 菅原良子

**【富士大学図書館】**

電話番号 (0198) 22 - 4986

FAX番号 (0198) 23 - 5818

E-mail tosyokan@fuji-u.ac.jp

館長 (併)教授 牧野博  
 事務責任者 参事役 井手俊一

**【盛岡大学図書館】**

電話番号 (019) 688 - 5561

FAX番号 (019) 694 - 1048

E-mail yagi@morioka-u.ac.jp

館長 (併)教授 高橋幸雄  
 事務責任者 事務室長 司書 八木融子

**【修紅短期大学図書館】**

電話番号 (0191) 24 - 2211 (代)

FAX番号 (0191) 24 - 2213

E-mail library@shuko.ac.jp

館長 (併)教授 小室彰

**【岩手看護短期大学図書館】**

電話番号 (019) 687 - 3864

FAX番号 (019) 687 - 3894

E-mail library@iwate-nurse.ac.jp

館長 (併)学長 小川英行  
 事務責任者 (併)講師 三田弥生

**【仙台大学附属図書館】**

電話番号 (0224) 55 - 1399

FAX番号 (0224) 57 - 2062

E-mail library@scn.ac.jp

館長 (併)教授 佐藤幹男  
 事務責任者 図書館課長 川村隆

**【仙台白百合女子大学図書館】**

電話番号 (022) 374 - 5090

FAX番号 (022) 374 - 4577

E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp

館長 (併)教授 大本泉  
 事務責任者 図書館事務長 生出登

**【石巻専修大学図書館】**

電話番号 (0225) 22 - 7718

FAX番号 (0225) 22 - 7875

E-mail hiro@isenshu-u.ac.jp

館長 (併)教授 羽田紘一  
 事務責任者 事務課長 佐藤彰桂

**【東北学院大学中央図書館】**

電話番号 (022) 264 - 6491

FAX番号 (022) 264 - 6490

E-mail lib-query@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

館長 (併)教授 佐藤司郎  
 事務責任者 図書情報課長 三浦陸

**【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】**

電話番号 (022) 368 - 1206

FAX番号 (022) 368 - 0777

E-mail lib-query@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 芳賀昭  
 事務責任者 課長補佐 高橋富士男

**【東北学院大学泉キャンパス図書館】**

電話番号 (022) 375 - 1174

FAX番号 (022) 375 - 2121

E-mail lib-query@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 中川清和  
 事務責任者 課長補佐 畠山和人

**【東北工業大学付属図書館】**

電話番号 (022) 305 - 3178

FAX番号 (022) 305 - 3180

E-mail nhayasak@tohtech.ac.jp

館長 (併)教授 高橋恒夫  
 事務責任者 事務長 早坂のり子

**【東北福祉大学図書館】**

電話番号 (022) 717 - 3319

FAX番号 (022) 717 - 3339

E-mail ishida@tfu-mail.tfu.ac.jp

館長 (併)教授 高橋 美由紀  
事務責任者 次長 石田 信孝  
課長 本間 雅人

**【東北文化学園大学総合情報センター図書館】**

電話番号 (022) 233 - 3878

FAX番号 (022) 233 - 9453

E-mail lib@office.tbgu.ac.jp

館長 学長補佐 江村 超  
(図書・情報・地域連携担当)  
事務責任者 法人事務局長 山本 嘉人

**【東北薬科大学附属図書館】**

電話番号 (022) 727 - 0061

FAX番号 (022) 273 - 5255

E-mail library@tohoku-pharm.ac.jp

館長 (併)教授 菊地 正雄  
事務責任者 事務部長 仙石 裕祥

**【宮城学院女子大学図書館】**

電話番号 (022) 279 - 5658

FAX番号 (022) 279 - 6077

E-mail t-ohsaka@mgu.ac.jp

館長 (併)教授 深澤 昌夫  
事務責任者 大学事務部長補佐 大坂 田茂子

**【尚絅学院大学図書館】**

電話番号 (022) 381 - 3439・3440

FAX番号 (022) 381 - 3411

E-mail k\_kimura@shokei.ac.jp

館長 (併)教授 阿留多伎 眞人  
事務責任者 図書課長 木村 久美子

**【聖和学園短期大学図書館】**

電話番号 (022) 376 - 8257

FAX番号 (022) 376 - 3155

E-mail seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp

館長 (併)教授 梅津 裕子  
事務責任者 司書 安田 明華

**【ノースアジア大学附属図書館】**

電話番号 (018) 836 - 2406

FAX番号 (018) 836 - 4402

E-mail naulib@nau.ac.jp

館長  
事務責任者 教職マネージャー 松本 典浩

**【東北芸術工科大学図書館】**

電話番号 (023) 627 - 2044

FAX番号 (023) 627 - 2085

E-mail library@aga.tuad.ac.jp

館長代理 学長 松本 哲男  
事務責任者 事務長 加藤 芳彦

**【羽陽学園短期大学附属図書館】**

電話番号 (023) 655 - 2385

FAX番号 (023) 655 - 2844

E-mail tosho@uyo.ac.jp

館長 (併)教授 斉藤 葉子  
事務責任者 図書係長 高橋 明子

**【山形短期大学附属図書館】**

電話番号 (023) 688 - 7544

FAX番号 (023) 688 - 6438

E-mail library@yamagata-jc.ac.jp

館長 (併)准教授 伊藤 弘昭  
事務責任者 課長 高橋 節子

**【いわき明星大学図書館】**

電話番号 (0246) 29 - 7121

FAX番号 (0246) 29 - 5001

E-mail library@iwakimu.ac.jp

館長 (併)教授 清水 信行  
事務責任者 グループ長 片見 智子  
室長補佐

**【奥羽大学図書館】**

電話番号 (024) 932 - 8931

FAX番号 (024) 932 - 8944

E-mail ohulib@f8.dion.ac.jp

館長 安藤 勝  
事務責任者 図書部長 伊藤 喜章

**【郡山女子大学図書館】**

電話番号 (024) 932 - 4848 (代)

FAX番号 (024) 924 - 1394

E-mail wachi@koriyama-kgc.ac.jp

館長 (併)教授 山田幸二  
副館長 (併)教授 二宮和比古  
事務責任者 司書係長 和知剛  
(併)非常勤講師

**【東日本国際大学学術情報センター】**

電話番号 (0246) 35 - 0416

FAX番号 (0246) 25 - 9188

E-mail lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp

センター長 (併)教授 大川信行  
事務責任者 係長 志賀義代

**【日本大学工学部図書館】**

電話番号 (024) 956 - 8639

FAX番号 (024) 956 - 8869

E-mail ainoue@ao.ce.nihon-u.ac.jp

館長 教授 永嶋誠一  
事務責任者 図書館事務課長 吉田正裕

**【桜の聖母短期大学図書館情報センター】**

電話番号 (024) 534 - 7137

FAX番号 (024) 531 - 2320

E-mail lib-c@ssjc.ac.jp

館長 教授 ウィリアム・スタインマン  
事務責任者 司書 津田文子

**【福島学院大学図書館情報センター】**

電話番号 (024) 553 - 2087

FAX番号 (024) 553 - 8253

E-mail tosho@fukushima-college.ac.jp

館長 (併)教授 片山邦子  
事務責任者 (併)准教授 呂学如